

はじめに

昨今、いわゆるエマージング・エコノミーの台頭とともに、複数の高度な外国語運用能力と高い専門性を身につけ、国際舞台で活躍できる人材の養成が急務となっています。国際公用語となっている英語のみならず他の外国語を縦横に運用できるとともに、法律、経済、人文社会科学等の専門知識を備えた人材が求められています。大阪大学は、外国語学部を擁する唯一の国立総合大学として、大阪外国語大学との統合のメリットを最大限に引き出し、他の大学では養成できないこうした貴重な人材を育成・輩出し、我が国の発展と国際社会の相互理解に貢献していきたいと考えています。

そこで、本学における新たな学際融合教育（学部・研究科等の枠にとらわれない教育）プログラムとして、本学の学生が多様（マルチ）な言語教育科目と各学部・研究科における専門教育科目を並行して履修することができる「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」を開設することにいたしました。

大阪大学は、多数の学部・研究科・研究所・センター等からなる総合大学です。マルチリンガル・エキスパート養成プログラムにおいて提供される各プログラムは、それぞれの専門分野を組み合わせで編成されており、また、学部の課程と大学院の博士前期（修士）課程を通じたプログラムとして開設するものです。この教育環境を最大限利用してみませんか。

このプログラムを履修することで、今までより大きな視野で物事を考えることができるようになり、所属学部・研究科においてもプラスに作用すると確信しています。

2022年度マルチリンガル・エキスパート養成（MLE）プログラム （学部プログラム・大学院プログラム）の概略

	学部プログラム	大学院プログラム ^{※1}
目 的	複数の学部及び複数の研究科の教育プログラムを修め、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成する。	
概 要	<p>① 外国語学部の学生が、他の学部が開設する専門教育レベルの人文学、人間科学、法学・政治学、経済学・経営学、工学、数理・データサイエンス・AIの分野から一つを選び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。</p> <p>② 文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の学生が、外国語学部が提供する専門教育レベルの語学・文化学を、一つの専攻語を選んで学び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。</p>	<p>① 人文学研究科③④⑥の学生が、他の研究科・専攻が提供する専門教育レベルの人文学、人間科学、法学・政治学、経済学・経営学、国際公共政策学の分野から一つを選び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。</p> <p>② 人文学研究科①②⑤、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、工学研究科の学生が、人文学研究科（外国学専攻）が開設する専門教育レベルの語学・文化学の分野を、一つの専攻語を選んで学び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。</p>
募 集 対 象	<p>① 文学部、工学部、数理・データ科学教育研究センター開設のプログラムについては外国語学部2、3年次の正規学生 人間科学部、法学部、経済学部開設のプログラムについては、外国語学部2年次の正規学生</p> <p>② 文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の2、3年次の正規学生</p>	大学院プログラムの募集については、①②ともに34-44頁をご覧ください。
提 供 数	レギュラープログラム：6 ショートプログラム：9	7
募 集 人 員	各プログラム：若干名	各プログラム：若干名
プ ロ グ ラ ム 開 始 申 請	必要（プログラム履修申請と科目履修申請／科目履修登録）	必要（プログラム履修申請と科目履修登録）
修 了 要 件	<p>あり レギュラープログラム：24単位以上 ショートプログラム：12単位以上 24単位未満</p> <p>所属する学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、当該学部プログラム修得のために必要な単位数の半数以上を修得しなければならない。（レギュラープログラムでは12単位以上、ショートプログラムでは6単位以上）</p>	<p>あり 14単位以上</p> <p>所属する研究科の修了に必要な最低修得単位数以外に、当該大学院プログラム修了のために必要な単位数の半数（7単位）以上を修得しなければならない。</p>
修了認定証 ^{※2}	総長とプログラム開設部局長・センターの長との連名で発行	

（※1）大学院プログラムは大阪大学大学院副専攻プログラムとして開設します。

（※2）学部プログラムのうちレギュラープログラムと大学院プログラムの両方を修了した者には、大学院副専攻プログラム修了認定証に加えて大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（全課程）の修了認定証を授与します。

* 人文学研究科は文学研究科と言語文化研究科が統合して、2022年4月に新設されます。

①人文学専攻、②芸術学専攻、③外国学専攻、④言語文化学専攻

⑤日文学専攻（基盤日文学プログラム）、⑥日文学専攻（応用日文学プログラム）

目 次

はじめに

2022年度マルチリンガル・エキスパート養成（MLE）プログラム（学部プログラム・大学院プログラム）の概略

1	プログラムの概要	1
	（1）「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム(学部プログラム・大学院プログラム)」の構成	
	（2）プログラムの区分	
	（3）プログラムの履修開始から修了までの流れ	
2	募集対象者・履修条件等について	5
	（1）募集対象者	
	（2）履修条件	
	（3）費用	
3	各プログラムのカリキュラム内容について	6
	（1）プログラムのカリキュラムについて	
	（2）プログラムの修了要件の満たし方について	
	（3）プログラムの授業科目の開講期間について	
4	プログラムの履修申請等に関する手続について	7
	（1）プログラムの履修開始時の手続について	
	（2）プログラム及びプログラム科目に関わる通知について	
	（3）プログラムの修了について	
	（4）プログラムの内容に関する問い合わせ先	
5	補足事項	12
	（1）単位修得方法の注意点	

6 Q & A13

2022年度 マルチリンガル・エキスパート養成 (MLE) 学部プログラム紹介21

文 学 部	【人文学 (グローバル・アジア・スタディーズ)】	21
	【人文学 (グローバル・ユーロ・スタディーズ)】	22
人 間 科 学 部	【人間科学 (共生の生態)】	23
法 学 部	【法学・政治学】	24
経 済 学 部	【経済学・経営学】	25
工 学 部	【工学部】	26
数理・データ科学		
教育研究センター	【数理・データサイエンス・AI】	27
外 国 語 学 部	【英語・英米文化学】	28
	【スペイン語・スペイン文化学】	31
	【ポルトガル語・ポルトガル文化学】	32
	【イタリア語・イタリア文化学】	33
	【インドネシア語・インドネシア研究】	34
	【スワヒリ語・アフリカ研究】	35
	【ベトナム語・東南アジア研究】	36
	【ウルドゥー語・南アジア地域文化研究】	37

2022年度 マルチリンガル・エキスパート養成 (MLE) 大学院プログラム紹介38

人 文 学 研 究 科	【人文学 (グローバル・アジア・スタディーズ)】	38
	【人文学 (グローバル・ユーロ・スタディーズ)】	39
人 間 科 学 研 究 科	【人間科学 (共生の生態)】	40
法 学 研 究 科	【法学・政治学】	41
経 済 学 研 究 科	【経済学・経営学】	42
国際公共政策研究科	【国際公共政策学】	44
人 文 学 研 究 科 (外国学専攻)	【言語文化学】	45

関係資料49

- 大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムに関する申合せ
- 大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムの一部として実施される学部プログラムに関する覚書

※2022年4月に文学研究科と言語文化研究科が統合して、人文学研究科が新設されます。

1 プログラムの概要

「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（学部プログラム・大学院プログラム）」とはどのようなものか解説します。

(1) 「マルチリンガル・エキスパート養成（MLE）プログラム（学部プログラム・大学院プログラム）」の構成

マルチリンガル・エキスパート養成（MLE）プログラムは、「学部プログラム」と「大学院プログラム」からなります。

学部プログラム

※学部プログラムは「レギュラープログラム」と「ショートプログラム」に分かれます。
※「レギュラープログラム」「ショートプログラム」ともに、各学部が定める要件を満たした履修生には学部修了時に学部プログラム修了認定証が交付されます。

- レギュラープログラム（修了要件単位数が24以上）
「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」「人間科学（共生の生態）」「法学・政治学」「経済学・経営学」「英語・英米文化学」
- ショートプログラム（修了要件単位数が12以上）
「スペイン語・スペイン文化学」「ポルトガル語・ポルトガル文化学」「イタリア語・イタリア文化学」「インドネシア語・インドネシア研究」「スワヒリ語・アフリカ研究」「ベトナム語・東南アジア研究」「ウルドゥー語・南アジア地域文化研究」「工学」「数理・データサイエンス・AI」

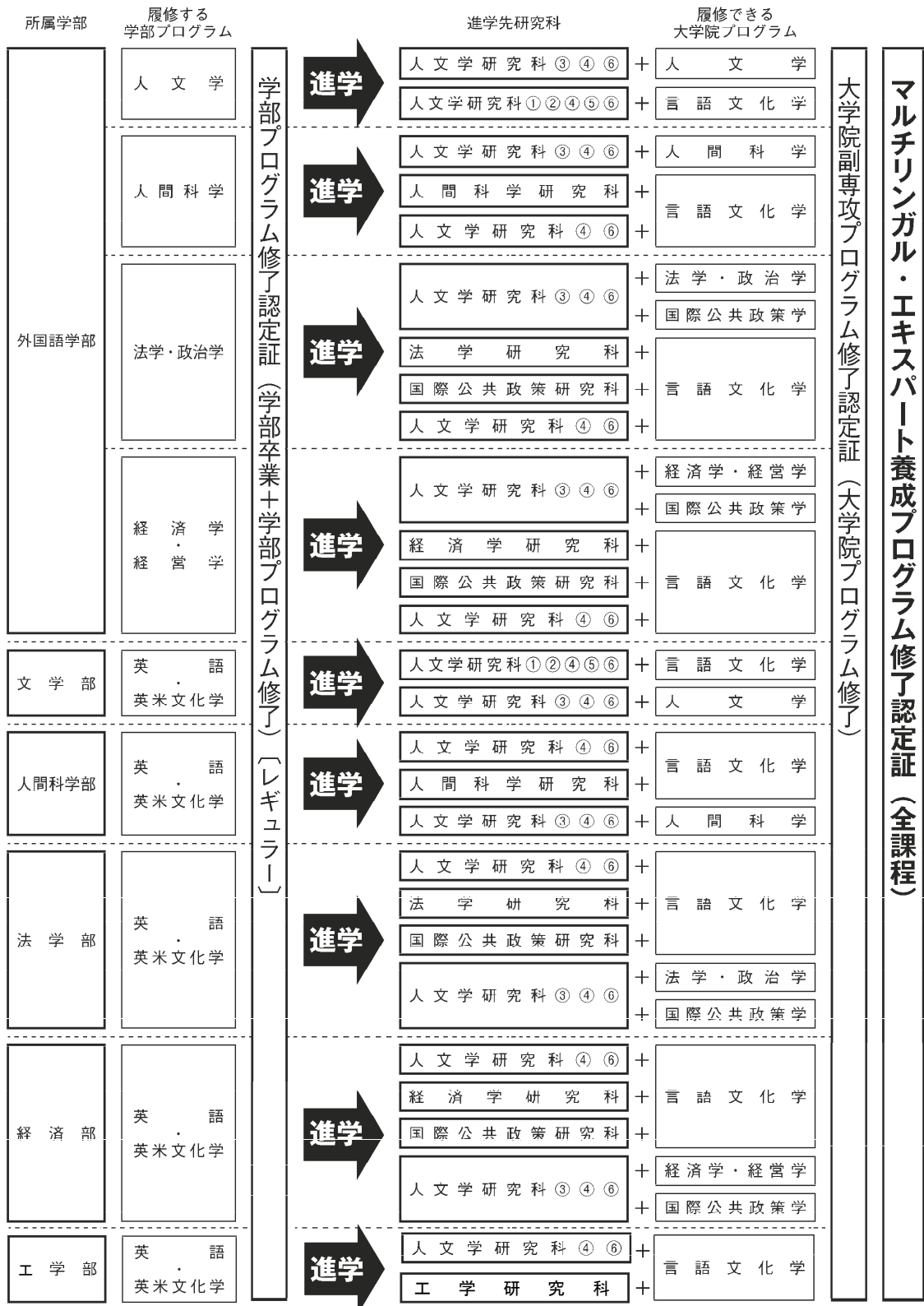
大学院プログラム

※各研究科が定める要件を満たした履修生には、課程修了時に大学院副専攻プログラムの修了認定証が交付されます。
※学部プログラムのうち、レギュラープログラムの修了者が大阪大学の大学院に進学した場合、次頁の図1に示される組み合わせで大学院プログラムを修了すると、学部プログラムと大学院プログラムを合わせてのマルチリンガル・エキスパート養成プログラム（全課程）修了認定証が交付されます。



※大学院プログラムの募集対象者については、9-10頁および38-48頁をご覧ください。

2022年度開設のプログラムに基づいた履修パターン【図1】



「人文科学研究科」は文学研究科と言語文化研究科が統合して新設されます。(2022年度開設予定)

- | | | |
|---------|------------------------|----------------------|
| 人文科学研究科 | ①人文学専攻 | 文学研究科
(2021年度迄) |
| | ②芸術学専攻 | |
| | ⑤日本学専攻
(基盤日本学プログラム) | |
| | ③外国学専攻 | 言語文化研究科
(2021年度迄) |
| | ④言語文化学専攻 | |
| | ⑥日本学専攻
(応用日本学プログラム) | |

◎ショートプログラム「スペイン語・スペイン文化学」「ポルトガル語・ポルトガル文化学」「イタリア語・イタリア文化学」「インドネシア語・インドネシア文化学」「スワヒリ語・スワヒリ文化学」「ベトナム語・東南アジア研究」「ウルドゥー語・南アジア地域文化研究」「工学」「数理・データサイエンス・AI」は、学部プログラムの修了認定はされますが、大学院プログラムと合わせてのマルチリンガル・エキスパート養成プログラム(全課程)の修了認定はされません。

(2) プログラムの区分

プログラムは、以下のように区別されています。

	学部プログラム	大学院プログラム
概要	<p>① 外国語学部の学生が、他の学部が開設する専門教育レベルの人文科学、人間科学、法学・政治学、経済学・経営学、工学、数理・データサイエンス・AIの分野から一つを選び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。</p> <p>② 文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の学生が、外国語学部が提供する専門教育レベルの語学・文化学の分野を、一つの専攻語を選んで学び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。</p>	<p>① 人文学研究科③④⑥の学生が、他の研究科が・専攻が提供する専門教育レベルの人文科学、人間科学、法学・政治学、経済学・経営学、国際公共政策学の分野から一つを選び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。</p> <p>② 人文学研究科①②⑤、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、工学研究科の学生が、人文学研究科（外国学専攻）が開設する専門教育レベルの語学・文化学の分野を、一つの専攻語を選んで学び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。</p>
募集対象者 ^{※1}	上記文系学部の2年次以上の正規学生	9-10頁をご覧ください。
修了要件	レギュラープログラム：24単位以上 ショートプログラム：12単位以上24単位未満 ^{※2}	14単位以上 ^{※3}
プログラム数	① 7プログラム ② 8プログラム	① 6プログラム ② 1プログラム

(※1) プログラムごとに設定が異なりますので、必ず各プログラムの紹介等で確認してください。

(※2) 学部プログラムの修了に必要な単位数は次のとおりとし、各学部プログラムごとにこれを定めるものとします。

- (1) レギュラープログラム 24単位以上
- (2) ショートプログラム 12単位以上24単位未満

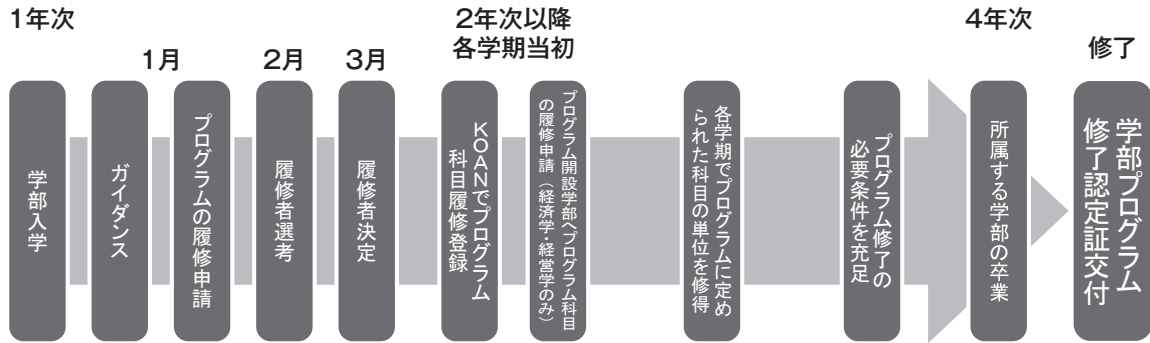
学部プログラムの修了に必要な単位と所属学部の卒業に必要な単位との重複を認めるものとします。ただし、当該学部プログラム修了のために必要な単位数の半数以上を、所属学部卒業に必要な最低修得単位数以外に修得する必要があります。

(※3) 大学院プログラムの修了に必要な単位と所属研究科の修了に必要な単位との重複を認めるものとします。ただし、当該大学院プログラム修了のために必要な単位数の半数（7単位）以上を、所属研究科の修了に必要な最低修得単位数以外に修得する必要があります。

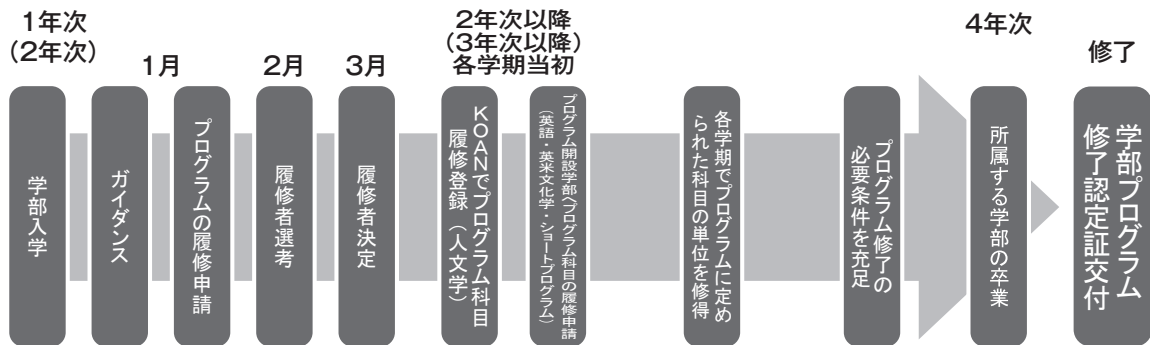
人文学研究科…①人文学専攻、②芸術学専攻、③外国学専攻、④言語学専攻、⑤日本学専攻（基盤日本学プログラム）、⑥日本学専攻（応用日本学プログラム）

(3) プログラムの履修開始から修了までの流れ【図2】

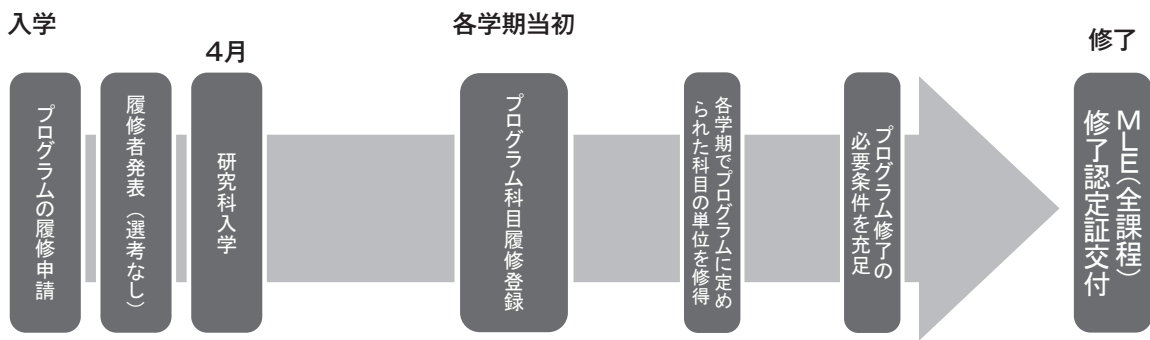
① 学部プログラム「人間科学」、「法学・政治学」、「経済学・経営学」を履修する場合



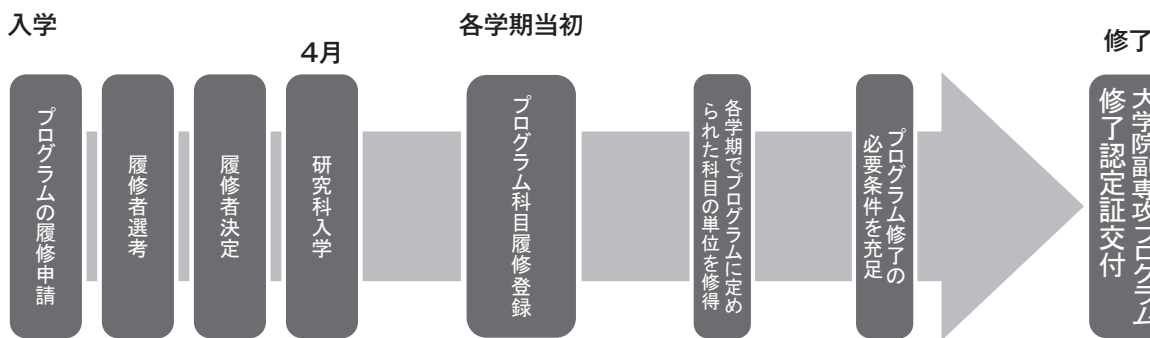
② 学部プログラム「人文学」、「英語・英米文化学」、「ショートプログラム」を履修する場合



③ 学部プログラム（レギュラープログラム）を修了した学生が2頁図1の履修パターンどおり大学院プログラムを履修する場合



④ ③以外で大学院プログラムを履修する場合



レギュラープログラム

・「人文学」「人間科学」「法学・政治学」「経済学・経営学」「英語・英米文化学」

ショートプログラム

・「工学」「数理・データサイエンス・AI」「スペイン語・スペイン文化学」「ポルトガル語・ポルトガル文化学」「イタリア語・イタリア文化学」「インドネシア語・インドネシア研究」「スワヒリ語・アフリカ研究」「ベトナム語・東南アジア研究」「ウルドゥー語・南アジア地域文化研究」

2 募集対象者・履修条件等について

MLEプログラムを履修することができる者、条件の概要を解説します。

(1) 募集対象者

◆学部プログラム

開設学部	プログラム	募集対象者
文学部	人文学（グローバル・アジア・スタディーズ） 人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）	2022年度に外国語学部外国語学科の2、3年次に在学する正規学生
工学部	工学	
数理・データ科学教育研究センター	数理・データサイエンス・AI	2022年度に外国語学部外国語学科の2年次に在学する正規学生
人間科学部	人間科学（共生の生態）	
法学部	法学・政治学	
経済学部	経済学・経営学	
外国語学部	英語・英米文化学	2022年度に文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の2、3年次に在学する正規学生
	スペイン語・スペイン文化学	
	ポルトガル語・ポルトガル文化学	
	イタリア語・イタリア文化学	
	インドネシア語・インドネシア研究	
	スワヒリ語・アフリカ研究	
	ベトナム語・東南アジア研究	
ウルドゥー語・南アジア地域文化研究		

◆大学院プログラム

開設研究科	プログラム	募集対象者
人文学研究科	人文学（グローバル・アジア・スタディーズ） 人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）	9-10頁をご覧ください。
	言語文化学	
人間科学研究科	人間科学（共生の生態）	
法学研究科	法学・政治学	
経済学研究科	経済学・経営学	
国際公共政策研究科	国際公共政策学	

2022年4月に文学研究科および言語文化研究科を統合し、人文学研究科を新設します。

(2) 履修条件

学部プログラムにおいては、大阪大学の文学部、人間科学部、外国語学部、法学部、経済学部および工学部の課程に在学していることが必要です。大学院プログラムにおいては、大阪大学の人文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、国際公共政策研究科および工学研究科の修士もしくは博士前期課程に在学していることが必要です。（どちらも科目等履修生・特別聴講学生をのぞく）。その他、プログラムごとに履修条件や履修者数の制限を設けている場合がありますので、個々のプログラム紹介を参照してください。

なお、MLEプログラムの複数のプログラムを同時に履修することはできませんので、プログラムの履修申請に際しては、MLEプログラムの中から1つを選択して履修申請手続きを行ってください。

(3) 費用

プログラムを履修することに対しては特別な費用はかかりません。ただし、プログラムの科目によっては、授業を受ける際に交通費などの実費がかかることがあります。

3 各プログラムのカリキュラム内容について

プログラムのカリキュラムの成り立ちや修了の方法について解説します。

(1) プログラムのカリキュラムについて

各プログラムのカリキュラムは、プログラム開設部局が企画し、プログラム科目や修了要件単位数を決めています。プログラム科目は、プログラム開設部局で開講する授業科目から構成されています。本冊子ではプログラムの概要を紹介していますが、科目の内容や構成科目については、ホームページ、KOANのシラバス等を参照してください。

(2) プログラムの修了要件の満たし方について

◆学部プログラムの修了要件の満たし方（本冊子の補足事項12頁を参照）

修了要件はプログラムごとに違い、本冊子には、プログラムの修了に必要な最低単位数を記載していますが、プログラムによっては必修科目を設けたり、コースを選択したりするなど、条件に違いがあります。詳細については、各プログラムの紹介ページ（21-37頁）等で確認してください。

なお、プログラムの修了に必要な単位と所属している学部の学科の卒業に必要な単位との重複は認められます。当該プログラムの単位が、学科の卒業に必要な単位として認められるかどうかは、所属学部の教務担当係に確認してください。ただし、当該学部プログラム修了のために必要な単位数の半数以上を、所属する学科の卒業に必要な最低修得単位数以外に、修得する必要があります。

◆大学院プログラムの修了要件の満たし方

修了要件はプログラムごとに違い、本冊子には、プログラムの修了に必要な最低単位数を記載していますが、プログラムによっては必修科目を設けたり、コースを選択したりするなど、条件に違いがあります。詳細については、各プログラムの紹介ページ（38-48頁）等で確認してください。

プログラムの修了に必要な単位と、所属している研究科の専攻の修了に必要な単位との重複は認められます。当該プログラムの単位が、専攻の修了に必要な単位として認められるかどうかは、所属する研究科の教務担当係に確認してください。ただし、所属する専攻の修了に必要な最低修得単位数以外に、最低7単位を当該プログラムのための単位として修得する必要があります。

なお、他の大学院副専攻プログラムと本大学院プログラムを履修する場合、各プログラムの修了に必要な単位の重複は認めます。

(3) プログラムの授業科目の開講期間について

プログラムの提供する授業科目の開講は、プログラムを履修している当該学生の課程の標準修業年限内は保証されますが、それ以降はカリキュラムの変更等の理由で開講されない場合がありますのでご注意ください。

4 プログラムの履修申請等に関する手続について

プログラムの履修申請、プログラム科目の履修について解説します。

(1) プログラムの履修開始時の手続について

学部プログラム

外国語学部生向けプログラム

• 履修申請について

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」

「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」

「人間科学（共生の生態）」

「法学・政治学」

「経済学・経営学」

「工学」

「数理・データサイエンス・AI」

応募希望者は、1つのプログラムを選択し、下記期間内に各プログラム開設部局の教務係宛にメールで申請もしくは直接窓口へ提出すること。

※「工学」「数理・データサイエンス・AI」のプログラムはMLE担当者に提出すること。

◎メールのタイトルは必ず「【MLE申請_学籍番号_氏名】」を明記すること。上記ルール以外の申請は受け付けません。開設部局教務係もしくはMLE担当者から受領のメールが届いた時点で、受付完了となります。申請後数日経っても連絡が届かない場合は、問合せてください。

※人文学プログラムを申請する場合は、MLE申請の後にアジアもしくはユーロを明記すること。

※法学・政治学プログラムの申請書を、直接申請する場合は、法学部教務係投函用ボックス（教務係入り口左横）に投函すること。

※工学プログラム、数理・データサイエンス・AIプログラムで、直接申請する場合は、外国語学部豊中分室もしくは外国語学部箕面事務室MLE担当者に提出すること。

履修申請書の提出期間 2022年1月6日（木）～2月21日（月）12:00

• 成績証明書提出方法

履修申請書を申請した後、下記期間内に各プログラム開設部局教務係宛にメールで提出もしくは直接窓口へ提出すること。

◎メールのタイトルは必ず「【MLE成績証明書_学籍番号_氏名】」を明記すること。上記ルール以外の提出は受け付けません。メールで提出する場合、成績証明書にはパスワードをつけること。

※人文学プログラムの申請者はMLE成績証明書の後にアジアもしくはユーロを明記すること。

※法学・政治学、工学、数理・データサイエンス・AIのプログラムは成績証明書の提出は不要です。

成績証明書の提出期限 文 学 部：2022年3月2日（水）16：00
人間科学部：2022年3月2日（水）16：00
法 学 部：提出不要
経 済 学 部：2022年3月2日（水）16：00
工 学 部：提出不要
M M D S：提出不要

• **選考について**

開設学部、センターの定める方法により履修生を選考し、3月下旬ごろ開設学部、もしくはMLE担当者から履修生を発表します。（選考方法については各プログラム紹介を参照のこと。）

• **科目履修登録について**

選考を経て履修生となった学生は、学期ごとに各プログラムの定めるルールに従って、科目履修申請書やKOAN、あるいはメール等により、所定の履修登録期間内に科目履修登録をします。詳細については、KOANの掲示板およびホームページにてお知らせします。

文系4学部生・工学部生向けプログラム（外国語学部開設）

• **履修申請について**

「英語・英米文化学」
「スペイン語・スペイン文化学」
「ポルトガル語・ポルトガル文化学」
「イタリア語・イタリア文化学」
「インドネシア語・インドネシア研究」
「スワヒリ語・アフリカ研究」
「ベトナム語・東南アジア研究」
「ウルドゥー語・南アジア地域文化研究」

応募希望者は、1つのプログラムを選択し、下記期間内にMLE担当者にメールで申請もしくは外国語学部箕面事務室学務係MLEまたは外国語学部豊中分室に提出すること。

◎メールのタイトルは必ず「【MLE申請_学籍番号_氏名】」を明記すること。上記ルール以外の申請は受け付けません。MLE担当者から受領のメールが届いた時点で、受付完了となります。申請後数日経っても連絡が届かない場合は、問合せください。

※履修申請書の様式は、MLEのホームページで入手できます。

<http://www.mle.osaka-u.ac.jp/program/application.html>



履修申請書の提出期間 2022年1月6日（木）～2月21日（月）12：00

• **成績証明書提出方法**

履修申請書を申請した後、下記期間内にMLE担当者にメールで提出もしくは所属学部の教務係に提出すること。工学部生はMLE担当に提出すること。

◎メールのタイトルは必ず「【MLE成績証明書_学籍番号_氏名】」を明記すること。上記ルール以外の提出は受け付けません。メールで提出する場合、成績証明書にはパスワードをつけること。

※法学部の学生で、成績証明書を直接提出する場合は、法学部教務係投函用ボックス（教務係入り口左横）に投函すること。

※工学部の学生で、成績証明書を直接提出する場合は、外国語学部豊中分室もしくは外国語学部箕面事務室MLE担当者に提出すること。

成績証明書の提出期限 2022年3月2日（水）16：00

• 選考について

開設学部の定める方法により履修生を選考し、3月下旬ごろ履修生を発表します。(選考方法については各プログラム紹介を参照のこと。)

• 科目履修登録について

選考を経て履修生となった学生は、学期ごとに開設学部の定めるルールに従って、科目履修申請書やKOAN、あるいはメール等により、所定の履修登録期間内に科目履修登録をします。詳細については、KOANの掲示板およびホームページにてお知らせします。

大学院プログラム

1. MLE 学部プログラム修了生 (2 ページの図 1 参照)

○プログラム 人文学研究科：人文学 (グローバル・アジア・スタディーズ)
人文学 (グローバル・ユーロ・スタディーズ)
言語文化学

人間科学研究科：人間科学 (共生の生態)

法学研究科：法学・政治学

経済学研究科：経済学・経営学

国際公共政策研究科：国際公共政策学

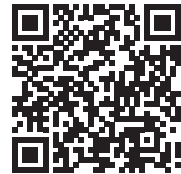
【履修対象】 2022年4月に人文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、国際公共政策研究科および工学研究科に入学する者

【申請期間】 2022年2月25日 (金) ~ 3月11日 (金) 12:00必着

【申請方法】 所定の履修申請書に記入し、以下のMLE担当にメールで申請してください。

multilingual@lang.osaka-u.ac.jp

【選考】 なし



◎メールのタイトルは【MLE 大学院プログラム】を明記すること。

2. MLE 学部プログラム修了生以外

①プログラム 人文学研究科：言語文化学

【履修対象区分】 2022年4月に人文学研究科 (人文学専攻、芸術学専攻、言語文化学専攻、日本学専攻)、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、国際公共政策研究科および工学研究科 (又は、10月入学の者は2021年10月に、文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、国際公共政策研究科、言語文化研究科 [言語文化専攻、日本語・日本文化専攻] および工学研究科) の修士・博士前期課程に入学した者で特に希望する者。

【定員】 若干名

【申請方法】 以下の送付先に、申請期間中に必着となるように、以下の書類を簡易書留等記録の残る方法にて郵送してください。(封筒に【MLE 大学院プログラム履修申請】と記入すること)。

① 履修申請書

② 最終学校の成績証明書の写し

③ 外国語の能力を証明するものの写し

送付先：〒562-8678

大阪府箕面市船場東3丁目5-10

大阪大学言語文化研究科・外国語学部箕面事務室

MLE 担当

- 【申請期間】 2022年2月25日（金）～3月14日（月）12：00必着
 【選考】 履修申請書（志望動機）および成績等の審査の結果を総合して履修生を決定します。面接を課す場合は、追って連絡します。
 【発表】 2022年3月下旬ごろにメールにて通知します。

3. MLE 学部プログラム修了生以外

- ②プログラム 人文学研究科：人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）
 人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）

人間科学研究科：人間科学（共生の生態）

法学研究科：法学・政治学

経済学研究科：経済学・経営学

国際公共政策研究科：国際公共政策学

- 【募集対象区分】 2022年4月（又は、10月入学の場合は2021年10月に、言語文化研究科）に、人文学研究科（言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻__応用日本学プログラム）の博士前期課程に入学する者

- 【定員】 若干名

- 【申請方法】 希望のプログラムの開設研究科の教務係宛てに、申請期間中に必着となるように、以下の書類を簡易書留等記録の残る方法にて郵送してください。（封筒に【MLE 大学院プログラム履修申請】と記入すること）。

- ① 履修申請書（志望動機）
- ② 最終学校の成績証明書の写し

送付先：

文学研究科	〒560-8532	豊中市待兼山町1-5
人間科学研究科	〒565-0871	吹田市山田丘1-2
法学研究科	〒560-0043	豊中市待兼山町1-6
経済学研究科	〒560-0043	豊中市待兼山町1-7
国際公共政策研究科	〒560-0043	豊中市待兼山町1-31

- 【申請期間】 2022年2月25日（金）～3月11日（金）

- 【選考】 書類選考（※人文学研究科では希望者多数の場合は面接を課すこともあります。）

- 【発表】 開設研究科教務係から、2022年3月下旬ごろメールにて通知します。

※履修申請書の様式は、MLEのホームページで入手できます。

<http://www.mle.osaka-u.ac.jp/program/application.html>

・科目履修登録について

履修生となった学生は、学期ごとに開設研究科の定めるルールに従って、科目履修申請書やKOAN、あるいはメール等により、所定の履修登録期間内（所属する研究科と科目開設研究科が設定している履修登録期間内の重なる期間）に科目履修登録をします。詳細については、KOANの掲示板およびホームページにてお知らせします。

(2) プログラム及びプログラム科目に関わる通知について

プログラムに関する通知や、プログラム科目の授業運営に関する通知（休講、課題等）の連絡は、原則、KOANの広報システム（掲示板等）により行います。ただし、プログラムによってはメールやホームページを使用する場合がありますので、各プログラムの指示に従ってください。

(3) プログラムの修了について

◆学部プログラム

学部プログラムの修了に必要な条件を全て満たすと、所属学部の課程を卒業するときに学部プログラムの修了認定証を授与します。修了認定証の交付は、所属する学部の教務担当係より行われます。

◆大学院プログラム

大学院プログラムの修了に必要な条件を全て満たすと、大学院副専攻プログラムの修了認定証を授与します。修了認定証の交付は、所属する研究科の教務担当係より行われます。

◆マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（全課程）

本プログラムの学部プログラムのうち、レギュラープログラムと大学院副専攻プログラムの両プログラムを修了した者には、大学院副専攻プログラム修了認定証に加えてマルチリンガル・エキスパート養成プログラム（全課程）の修了認定証を授与します。修了認定証の交付は、所属する研究科の教務担当係より行われます。

(4) プログラムの内容に関する問い合わせ先

人文学研究科・外国語学部箕面事務部

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE） 担当

〒562-8678 箕面市船場東3-5-10

Email : multilingual@lang.osaka-u.ac.jp TEL : 072-730-5062

ホームページ URL : <http://www.mle.osaka-u.ac.jp/>



5 補足事項

各解説事項を補足します。

(1) 単位修得方法の注意点

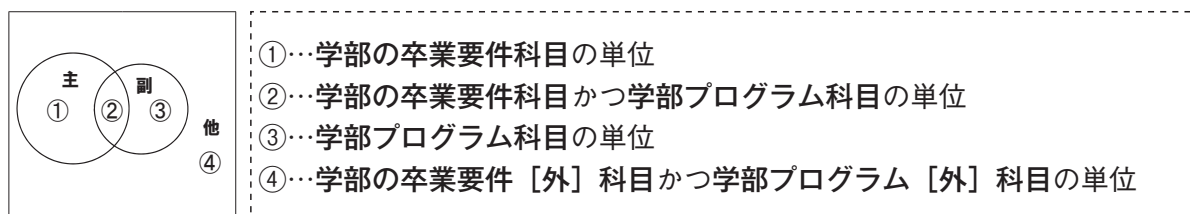
◆学部プログラム

「学部プログラム」は、所属学部・学科以外の内容や所属学科の専門性を生かすための関連分野を学ぶプログラムです。よって、プログラムの要件単位数を満たしても、所属学部・学科の卒業要件単位と重複する（内数として利用される）単位のみでは同プログラムを修了したと認定されず、【制度上の最低修得単位数の半数以上】は、当該プログラムのための単位として修得する必要があります。すなわち、レギュラープログラムにおいては【12単位以上】、ショートプログラムにおいては【6単位以上】は、学部・学科の卒業要件ではない単位、あるいは卒業要件単位となる科目で卒業のために利用する単位数以上の余分に追加された単位である必要があります。

なお、プログラム科目が所属学部・学科以外の構成科目でも、同学部が規定する申請を行うことにより、卒業要件単位に算入することができる場合がありますが、当該科目を卒業要件の内数として利用する場合は、それ以外に単位の上乗せが必要となる場合があることに注意が必要です。

図解例

修得した単位を下記の区分①～④に分けた場合、



所属学部の卒業要件単位数を「(A) 単位」とすると、以下の3つの条件をすべて満たすことが必要です。

- 条件1：学部プログラムの修了要件単位を満たすこと。
- 条件2：『①+②+③ \geq (A)+12 (レギュラープログラム) あるいは 6 (ショートプログラム)』を満たすこと。
(例. 学部プログラムを申請し、(A)=126の場合、「138単位以上」)
学部プログラム科目の単位と、所属している学部の卒業要件単位との重複は認められるが、学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に当該学部プログラム修得のために必要な単位数の半数以上の単位を修得することが必要。
- 条件3：所属学部を卒業すること。

※詳しくは、所属の教務係にお問い合わせください。

6 Q & A

履修希望者および実際の履修生よりいただいた質問とその回答を紹介します。

募集・申請

Q：募集人員の「若干名」とは、何名程度の想定ですか？

A：募集人員「若干名」の人数想定としては、1～10名程度を想定しており、各プログラムへの応募者数や応募者の成績等を基に、プログラムごとに決定されます。

Q：なぜ、募集人員を若干名に限るのですか？

A：学部プログラムについては、文学部、人間科学部、外国語学部、法学部、経済学部の専門教育科目の授業を他学部の学生が履修するという形で開講するものであるため、教室の定員や授業効果等の観点から、各プログラムとも募集人員を「若干名」に限ることとしています。

Q：現在開設されているプログラムの採用者数は何名ですか？

A：以下のとおりです。

2021年度（合計48名）

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」 6名

「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」 3名

「人間科学（共生の生態）」 10名

「法学・政治学」 8名

「経済学・経営学」 6名

「英語・英米文化学」 7名

「スペイン語・スペイン文化学」 3名

「ポルトガル語・ポルトガル文化学」 0名

「イタリア語・イタリア文化学」 1名

「インドネシア語・インドネシア研究」 4名

「スワヒリ語・アフリカ研究」 0名

2020年度（合計70名）

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」 5名

「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」 20名

「人間科学（共生の生態）」 11名

「法学・政治学」 8名

「経済学・経営学」 8名

「英語・英米文化学」 11名

「スペイン語・スペイン文化学」 4名

「ポルトガル語・ポルトガル文化学」 0名

「イタリア語・イタリア文化学」 3名

2019年度（合計46名）

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」 3名

「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」 6名

「人間科学（共生の生態）」 10名

「法学・政治学」 7名
「経済学・経営学」 9名
「英語・英米文化学」 10名
「スペイン語・スペイン文化学」 1名
「ポルトガル語・ポルトガル文化学」 0名

2018年度（合計70名）

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」 9名
「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」 13名
「人間科学（共生の生態）」 11名
「法学・政治学」 6名
「経済学・経営学」 7名
「英語・英米文化学」 21名
「スペイン語・スペイン文化学」 3名

2017年度（合計55名）

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」 4名
「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」 6名
「人間科学（共生の生態）」 10名
「法学・政治学」 8名
「経済学・経営学」 8名
「英語・英米文化学」 19名

2016年度（合計31名）

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」 3名
「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」 7名
「人間科学（共生の生態）」 10名
「法学・政治学」 7名
「経済学・経営学」 4名

2015年度（合計32名）

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」 9名
「人間科学（共生の生態）」 9名
「法学・政治学」 8名
「経済学・経営学」 6名

Q：海外渡航などで期限までに成績証明書を取得できない場合はどうすればよいですか？

A：所属学部の教務係に申し出てください。正当な理由と認められれば、代理で成績証明書を取得し当該学部に提出します。

Q：今年度不採用の場合、来年度に応募することは可能ですか？

A：2年次を募集対象とするプログラムは、2年次しか応募できません。3年次を募集対象としているプログラムでは3年次の応募は可能です。しかしながら対象となる年次が変更される可能性がありますので、応募の際にはこの点を必ず確認してください。

履修者の選考

Q：履修者の選考方法や選考基準は、具体的にはどのようなものですか？

A：各学部プログラムの履修者は、次の方法で選考されます。

〈人文学〉

履修申請書（志望理由）および成績等の審査の結果を総合して選考します。希望者多数の場合は、面接を課すこともあります。

〈人間科学〉

履修申請書（志望理由）および成績等の審査の結果を総合して選考します。

〈英語・英米文化学〉

履修申請書（志望理由）および成績等の審査の結果を総合して選考します。必要に応じて面接を課すこともあります。

〈法学・政治学〉

履修希望者多数の場合は、入学以降の成績（GPA）及び履修申請書（志望理由）を総合して選考し、履修者を決定します。

〈経済学・経営学〉

履修申請書（志望理由）および成績等の審査の結果を総合して選考します。希望者多数の場合は、面接を課すこともあります。

Q：学部プログラムを履修するには、どの程度のGPAが必要ですか？

A：各プログラムともGPAの基準は設けられていません。

カリキュラム・授業

Q：プログラム科目の時間割はいつ発表されるのですか？

A：各プログラムの科目の時間割の発表予定時期は次のとおりです。

（なお、発表後に一部変更される場合もあります。）

〈人文学〉 2022年3月初旬

〈人間科学〉 2022年2月初旬

〈法学・政治学〉 2022年3月下旬

〈経済学・経営学〉 2022年1月末

〈英語・英米文化学〉 2022年3月下旬

Q：授業科目にⅠやⅡ、1や2がついているものは、ⅠやⅡから履修した方がよいですか？

A：〈人文学〉

ⅠやⅡなどのローマ数字は講義内容の相違を示しており、履修すべき順を表しているわけではありません。

〈人間科学〉

特にシラバスで断りがない限りは、Ⅱや2を先に履修することも、またⅡや2だけを履修することもできます。

〈英語・英米文化学〉

ⅠやⅡなどのローマ数字は講義内容の相違を示しており、履修すべき順を表しているわけではありません。

〈法学・政治学〉

授業科目ごとに異なりますので、各自シラバスで確認してください。

〈経済学・経営学〉

基本的に履修の順番は問いませんが、シラバス等により、「1」→「2」の順に履修することが望ましいとされている授業もあります。

Q：経済学・経営学プログラムに置いては、数学的知識はかなり必要ですか？（理系出身ではないので不安があります。） また、マーケティングの授業があるようですが、講義形態の授業だけでなく、ワークショップのような参加型の授業、また実際に商品開発、マーケティングに取り組むことはありますか？

A：数学の知識は必要ですが、その程度は、授業によって異なります。数学A, 数学B で使われている教科書も参照してください。（石村園子『やさしく学べる微分積分』（共立出版）（数学A）、藤田岳彦・石井昌宏『穴埋め式 線形代数 らくらくワークブック』（講談社）（数学B）、など）。またマーケティングは、学部の授業では、講義形態となります。

Q：経済学・経営学プログラムについて、1年生時に「経済学A」および「経済学B」を履修していなくても、応募は可能ですか？

A：応募は可能です。ただし、「マクロ経済学の考え方」および「ミクロ経済学の考え方」の単位を修得することは、本プログラムの前提となっていますので、2年次に修得することが望まれます。なお、既に「経済学A」または「経済学B」の単位を修得している場合、次のように取り扱います。

- 「経済学A」は「マクロ経済学の考え方」に相当。
- 「経済学B」は「ミクロ経済学の考え方」に相当。

Q：「経済学・経営学」プログラムの選択必修科目と選択科目において、履修の順番はありますか？

A：経済学部生向けには、選択必修1、選択必修2、選択科目の区分があります。基本的には、この順番で履修することが想定されています。区分ごとの科目群は下記URLを参照してください。

選択必修1：www.econ.osaka-u.ac.jp/academics/HTML/gakubu_senhitsu1.htm

選択必修2：www.econ.osaka-u.ac.jp/academics/HTML/gakubu_senhitsu2.htm

選択科目：www.econ.osaka-u.ac.jp/academics/HTML/gakubu_sentaku.htm

Q：「経済学・経営学」プログラムに集中講義があればありがたいのですが、その予定はありますか？

A：選択必修科目に関しては、経済学部生の多くが履修するため、集中講義という形で実施する予定はありません。選択科目については、担当教員の都合により開講される場合があります。下記URLを参照してください。

経済学部 専門教育科目シラバスリンク：

www.econ.osaka-u.ac.jp/academics/u_credit.html

※なお、学部により集中講義の日程が異なるため、他学部の集中講義期間が外国語学部の通常授業期間にあたる場合があります。日程が重なった場合、履修できない可能性があります。

Q：経済学・経営学プログラムにおいては、高校における数Ⅲは必要ですか？

A：微分積分については高校の文系数学程度の知識が必要です。行列・ベクトルについては数Ⅲ+ α な内容が必要な科目があります。特に、選択必修科目の統計や選択科目のエコノメ

トリックス関連、金融工学系の科目を専門に勉強したい場合は必要です。ミクロ・マクロなど経済学の基本的分野ではそれほど使うことはありません。

Q：人間科学（共生の生態）プログラムにおいて、基礎科目（概論）とその他の科目について、履修の順番はありますか？

A：構成科目の履修の順序を特に定めていません。ただし、まずは「基礎科目」を履修することが望ましいとされます。

Q：人間科学（共生の生態）プログラムでは、数学の知識は必要ですか？

A：特に必要ありません。

Q：箕面キャンパスで遠隔受講することができる授業科目は何科目くらいありますか？

A：2018～2021年度には、次に挙げる遠隔配信授業が開講されました。

【2021年度の遠隔配信授業】

〈人文学〉

「世界の中のアジア史」「ヨーロッパの歴史Ⅲ」（春夏学期、秋冬学期、木曜3限）

〈人間科学〉

「比較福祉論」（秋学期、水曜1・2限）

〈スペイン語・スペイン文化学〉

「スペイン語学概論」（春夏学期、金曜2限）

「スペイン歴史文化概論」（秋冬学期、水曜1限）

「スペイン文化概論」（秋冬学期、水曜5限）

〈イタリア語・イタリア文化学〉

「イタリア言語文化概説Ⅰ」（春夏学期、秋冬学期、金曜2限）

オンライン授業として実施しているため、遠隔配信授業として登録していない科目があります。

【2020年度の遠隔配信授業】

〈人文学〉

「世界の中のアジア史」「ヨーロッパの歴史Ⅲ」（春～夏、秋～冬学期、木曜3限）

〈人間科学〉

「比較福祉論」（秋学期、火曜2限）

「臨床死生学・老年行動学」（秋～冬学期、木曜3限）

〈法学・政治学〉

「国際経済学Ⅰ」（春～夏学期、火曜2限）

「国際私法」（春～夏学期、水曜1限）

〈スペイン語・スペイン文化学〉

「スペイン語学概論a」（春～夏学期、金曜2限）

「スペイン文化概論」（秋～冬学期、水曜5限）

〈イタリア語・イタリア文化学〉

「イタリア言語文化概説Ⅰ」（春～夏、秋～冬学期、火曜2限）

※コロナ禍の影響で、遠隔配信授業としては実施せず。

【2019年度の遠隔配信授業】

〈人文学〉

「世界の中のアジア史」「ヨーロッパの歴史Ⅲ」（春～夏、秋～冬学期、木曜3限）

〈人間科学〉

「比較福祉論Ⅰ」（秋～冬学期、火曜1・2限）

「臨床死生学・老年行動学」（秋～冬学期、木曜2限）

〈法学・政治学〉

「商法2」（春～夏学期、火曜1限・木曜1限）

「行政法」（春～夏学期、木曜3限）

「国際私法」（春～夏学期、水曜1限）

〈経済学・経営学〉

「経営計算システム」（春～夏学期、月曜4限・火曜3限）

〈スペイン語・スペイン文化学〉

「スペイン語学概論」（春～夏学期、金曜2限）

【2018年度の遠隔配信授業】

〈人文学〉

「世界の中のアジア史」「ヨーロッパの歴史Ⅲ」（春～夏、秋～冬学期、木曜3限）

〈人間科学〉

「臨床死生学・老年行動学」（秋～冬学期、木曜1限）

〈法学・政治学〉

「商法2」（春～夏学期、火曜1限・木曜1限）

「行政法2」（春～夏学期、木曜3限）

〈経済学・経営学〉

「経営計算システム」（春～夏学期、月曜4限・火曜3限）

「経済史」（秋～冬学期、月曜3限・水曜1限）

〈スペイン語・スペイン文化学〉

「スペイン語学概論」（春～夏学期、金曜2限）

「スペイン文学概論」（秋～冬学期、金曜2限）

履修・修了要件

Q：大阪大学在学中に1年間留学したいと考えていますが、MLEの履修（申請）は可能ですか？また、修了することも可能ですか？

A：外国の大学に留学を予定している学生であっても、本プログラムの履修（申請）は可能です。（ただし、2年次の1学期から留学を考えている場合は、プログラムの履修申請時に担当係に相談してください。）

外国の大学に留学中は、大阪大学の授業科目（プログラム科目を含む）を履修（単位修得）することはできませんが、卒業までの間に履修プログラムの修了要件を満たすことができれば、「学部プログラムの修了」ということになります。

例えば、大阪大学を休学しないで1年間留学し、在学4年間での（学部の）卒業を考えている場合は、2年次から4年次までの間のうち大阪大学に「在学」する2年間で、履修プログラムの修了要件を満たすことができれば、学部プログラムを修了することができます。

なお、大阪大学を「休学」して留学する場合は、2年次以降、大阪大学に「在学」する3年（以上の）間で、履修プログラムの修了要件を満たすことができれば、学部プログラムを修了することができます。

Q：プログラム科目の単位を落とした場合、学部プログラムの履修資格を失うなどのペナルティはありますか？

A：学部プログラムの履修が認められた学生については、基本的に同一学部在学中は学部プログラムの履修資格を失うことはありません。

なお、卒業時までには学部プログラムの修了要件を満たすことができなかった場合は、修了認定証の交付を受けることはできません。

Q：学部プログラムの履修生として決定された後に、（例えば、プログラムの履修の途中で）プログラムの履修をやめることは可能ですか？

A：やむを得ない事情で履修を取り下げたい場合は、外国語学部のMLE担当者まで連絡の上、履修取り下げ願を提出してください。ただし、履修開始の次年度以降から受け付けます。

Q：英語・英米文化学プログラムにおいて、重複履修は可能でしょうか？

A：学部プログラムの修了としては、担当教員に内容を確認し許可を得れば、重複履修は可能です。ただし、重複履修した単位が卒業要件に含まれるかどうかについては、所属学部の教務係に確認してください。

成績・単位

Q：MLEで履修した授業科目の成績は、GPAに加算されるのですか？

A：基本的にGPAの算出に含めます。

GPAの算出の対象となる授業科目については、「大阪大学におけるグレード・ポイント・アベレージ制度に関する要項」において、共通教育系科目、専門教育系科目、国際交流科目、コミュニケーションデザイン科目及びグローバルコラボレーション科目のうち、大阪大学学部学則第10条の7第2項に基づく試験の成績の評価を行う授業科目であって、『各学部において卒業要件に算入することができる授業科目』とすると定められています。

Q：留学先の大学で修得した授業科目の単位をプログラム科目の単位として認定してもらうことは可能ですか？

A：答えは「不可」です。

大阪大学学部学則第10条の3では、「他の大学等における授業科目の履修」に関して、学部が教育上有益と認めるときは、学生が外国の大学の授業科目を履修して修得した単位を（所属学部の）卒業に要する単位に算入できると規定されています。

学生が留学先大学で修得した授業科目の単位（以下「留学単位」といいます。）は、所属学部の卒業要件単位（所属学部の専門教育科目の単位）としては認定することは可能なのですが、他学部の専門教育科目の単位として認定することはできません。

MLEのプログラム科目は、授業を開設する学部（つまり、他学部）の専門教育科目となるため、留学単位は、MLEの修了要件単位として認定することはできません。

Q：たとえば「法学・政治学」プログラムの履修生が、留学で修得した「法学・政治学」関連の単位は、法学部で認定してもらうことは可能ですか？

A：留学中に修得した単位は、所属学部のみ単位互換の申請をすることができます。従って、法学部のみならず、ある学部が他学部にも所属する学生の単位を認定することはありません。

Q：プログラム科目として修得した授業科目の単位を教職課程の単位とすることは可能ですか？

A：当該プログラム科目の単位が、所属学部（例えば、外国語学部）において取得することが可能な教育職員免許状に係る「教科に関する科目」等の単位として有効な場合については、教職課程の単位とすることは可能です。ただし、所属学部以外（他学部）で修得した単位となるため、教職課程の単位とする場合については、所属学部の教務係に相談するようにしてください。

Q：現在、「日本法の諸問題（Topics in Japanese Law）」を履修していますが、法学・政治学プログラムの「特別講義（Topics in Japanese Law）」の単位として認定されますか？

A：ご質問の「日本法の諸問題（Topics in Japanese Law）」は、国際交流科目として開講されているものです。したがって、法学・政治学プログラムの「特別講義（Topics in Japanese Law）」の単位としては認定しません。

なお、同様に、国際交流科目の「比較法の諸問題（Topics in Comparative Law）」についても、法学・政治学プログラムの「特別講義（Topics in Comparative Law）」の単位としては認定しません。

Q：学部プログラムにおいて、制度上の最低修得単位の半数以上は、学部・学科の卒業要件ではない単位、あるいは卒業要件単位となる科目で卒業のために使用する単位数以上の余分に追加された単位である必要があるということですが、仮に余分に修得した単位を卒業要件単位に組み込みたい場合、何単位をどの科目に組み込めるのでしょうか？

A：「所属学部以外の専門教育科目の単位」の取扱いについては、学部ごとに細かく決められていますので、ここで詳細にわたって説明できませんので、詳細についてはそれぞれの所属学部にお問い合わせください。

履修のメリット

Q：MLEの修了は、就職等において有利にはたりますか？

A：自己PRの材料になり得ると考えます。就職活動の際、希望者には修了見込証明書を発行します。

履歴書等の必要書類に「大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラム・学部プログラム（〇〇〇学）修了見込み」と記載できます。

修了者には卒業時に大阪大学総長と学部プログラムの開設学部長が連名で記載する学部プログラム修了認定証が交付されます。

その他

Q：英語・英米文化学プログラムを履修中に、外国語学部以外の他の文系学部へ転部した場合、このプログラムの履修の継続は可能なのでしょうか？

A：可能です。転部の際には、MLE担当者に連絡してください。

Q：文学部、人間科学部、法学部、経済学部で学部プログラムを修了して卒業した学生が、文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、国際公共政策研究科のうちで、卒業学部と異なる研究科に進学した場合、大学院プログラムは履修可能でしょうか？

A：可能です。

Q：高等司法研究科へと進学した場合、大学院プログラムは履修できないのでしょうか？

A：高等司法研究科はMLEの枠組みに含まれませんので、履修は不可能です。

2022年度 マルチリンガル・エキスパート養成 (MLE) 学部プログラム紹介

文学部【人文学 (グローバル・アジア・スタディーズ)】

プログラム名	和文	人文学 (グローバル・アジア・スタディーズ)
	英文	Humanities (Global Asian Studies)
開設学部	文学部	
募集対象者	2022年度に外国語学部外国語学科の2・3年次に在学する正規学生	
修了要件	24単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を12単位以上修得しなければならない。
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうち学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、人文学 (グローバル・アジア・スタディーズ) に関するプログラムを提供する。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①アジアの文化・歴史・思想全般に関する基礎知識を習得している。 ②アジアの文化・歴史・思想を研究するための方法を習得している。 ③アジアの文化・歴史・思想の個別主題についての専門知識を習得している。 ④アジア諸言語の高度な運用能力を習得している。	
カリキュラムの構成	<ul style="list-style-type: none"> ・「グローバルフィロソフィー」「世界の中のアジア史」「グローバルアジア研究」「広域アジア史」「アジアの思想史」「アジアの芸術史」「アジアの文化と社会」「中国語圏文学」「中国の文化と社会」の科目群を設け、科目群ごとに1～5の科目を配置する。 ・豊富な選択肢のなかから自由に組み合わせることで選択できるため、履修者の関心に応じて、一般性 (地域横断的な知と分野横断的な知) (上記①に対応)、専門性 (上記③に対応) のいずれにも焦点化が可能である。 ・高度な外国語運用能力の養成のため、文献講読も開講する (上記④に対応)。 ・上記②については、各科目群の基礎的な科目をもって対応する。 	
履修資格・条件	募集人員は10名程度で、履修申請書 (志望理由) 及び成績等の審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。希望者多数の場合は、面接を課すこともある。	
前提知識の目安	アジアを対象とした思想、歴史、文学、芸術などの人文学について、学部1年生程度の基礎知識を有していること。	
履修申請	■頁を参照のこと。「学部プログラム履修申請書」の用紙は、MLEのホームページから入手できる。	
問合せ先	文学研究科教務係 TEL: 06-6850-5085/5084 FAX: 06-6850-5087 Email: bunsouhaku-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数		開講学期 (4学期制)	配当学年	備考	
		必修	選択				
00Z002	世界の中のアジア史	2		春～夏学期	3,4年	①	左記の「必修科目」1科目2単位を修得すること。同一科目の重複履修可 (担当教員に確認すること)。 2単位を超えて修得した場合は、超過した単位を「選択必修科目」の単位とすることができる。
00Z003	世界の中のアジア史	2		秋～冬学期	3,4年	①	
00Z001	グローバルフィロソフィー	2		春～夏学期	2,3,4年	②	左記の「選択必修科目」のうち22単位以上修得すること。同一科目の重複履修可 (担当教員に確認すること)。
00Z004	グローバル・アジア研究 I	2		不開講	3,4年	②	
00Z005	グローバル・アジア研究 II	2		不開講	2,3,4年	②	
00Z006	グローバル・アジア研究 III	2		不開講	2,3,4年	②	
00Z014	広域アジア史 I	2		春～夏学期	3,4年	③	
00Z015	広域アジア史 II	2		秋～冬学期	3,4年	③	
00Z016	広域アジア史 III	2		不開講	3,4年	③	
00Z017	広域アジア史 IV	2		不開講	2,3,4年	③	
00Z018	広域アジア史 V	2		秋～冬学期	2,3,4年	③	
00Z008	アジアの思想史 I	2		春～夏学期	2,3,4年	③	
00Z009	アジアの思想史 II	2		秋～冬学期	2,3,4年	③	
00Z031	アジアの思想史 III	2		春～夏学期	2,3,4年	③	
00Z032	アジアの思想史 III	2		不開講	2,3,4年	③	
00Z020	アジアの思想史 IV	2		秋～冬学期	2,3,4年	③	
00Z010	アジアの芸術史	2		秋～冬学期	2,3,4年	③	
00Z021	アジアの文化と社会 I	2		春～夏学期	2,3,4年	③	
00Z022	アジアの文化と社会 II	2		秋～冬学期	2,3,4年	③	
00Z023	中国語圏文学 I	2		春～夏学期	2,3,4年	③④	
00Z024	中国語圏文学 II	2		春～夏学期	2,3,4年	③④	
00Z025	中国語圏文学 III	2		秋～冬学期	2,3,4年	③④	
00Z026	中国語圏文学 IV	2		不開講	2,3,4年	③④	
00Z027	中国語圏文学 V	2		春～夏学期	2,3,4年	③④	
00Z028	中国の文化と社会 I	2		春～夏学期	3,4年	③	
00Z029	中国の文化と社会 II	2		春～夏学期	3,4年	③	
00Z030	中国の文化と社会 III	2		秋～冬学期	3,4年	③	

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
※構成科目の一覧は、2021年度の実績に基づく開講予定で変更される可能性があります。

文学部【人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）】

プログラム名	和文 人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ） 英文 Humanities (Global Euro Studies)
開設学部	文学部
募集対象者	2022年度に外国語学部外国語学科の2・3年次に在学する正規学生
修了要件	24単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を12単位以上修得しなければならない。
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。 本プログラムは、そのうち学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、人文学に関するプログラムを提供する。 グローバル化が進展する今日において、ひとつの国や地域に関する専門的知識をもちながら、それを含む広い領域に関する複数の学問分野について学ぶことは、ますます重要な課題となっている。本プログラムでは、ヨーロッパの古代から現代までのあらゆる時代に関わる思想、歴史、文学、芸術などの人文学の基礎知識、理論、方法論を学び、幅広い人文学的教養と高度な専門性を備えたグローバル人材を育成することを教育目標とする。
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①ヨーロッパの文化・歴史・思想全般の基礎知識を習得している。 ②ヨーロッパの文化・歴史・思想を研究するための方法を習得している。 ③ヨーロッパの文化・歴史・思想の個別主題について専門的な知識を習得している。 ④ヨーロッパ諸言語の高度な運用能力を習得している。 *構成科目の備考欄①～④に対応している。
カリキュラムの構成	上記の到達目標(修了時に身に付けるべき能力)を達成するために、以下の科目群を配置し、系統的履修を促す。 ヨーロッパ思想とヨーロッパ芸術に関する概説講義を必修科目とし(①)、「ヨーロッパの哲学」「ヨーロッパの歴史」「ヨーロッパの文学」「ヨーロッパの芸術」ならびに「ヨーロッパの現代」という5つの科目群を選択必修科目と位置づける。これにより、履修者の関心に応じて、ひとつの学問分野において地域横断的な知見を得る(②)とともに、ひとつの国や地域に関する分野横断的な知識の習得(③)が可能となる。 さらには、ヨーロッパをアジア(と日本)との関係のなかに位置づける科目も配し、世界全体から見たヨーロッパの特殊性への意識をも涵養する。また、英・独・仏語の文献講読授業や、ネイティブ教員による英・独・仏語の授業も組み込み、高度な外国語運用能力の習得を促す(④)。
履修資格・条件	ヨーロッパの歴史と現代、ならびにヨーロッパの哲学・歴史・文学・芸術に関心があり、それらの領域に関わる専門研究に従事する意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は10名程度で、履修申請書(志望理由)及び成績等の審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。希望者多数の場合は、面接を課すこともある。
前提知識の目安	英語に加えて、ドイツ語、フランス語、イタリア語などのヨーロッパ諸言語の少なくとも一言語に関する基礎的な文法事項を修得していることが望ましい。
履修申請	■頁を参照のこと。 「学部プログラム履修申請書」の用紙は、MLEのホームページから入手できる。
問合せ先	文学研究科教務係 TEL: 06-6850-5085/5084 FAX: 06-6850-5087 Email: bunsouhaku-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数			開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
		必修	選必	選択			
00Z201	グローバル・ユーロ思想史	2			春～夏学期	2,3,4年	左記の「必修科目」2科目4単位を修得すること。 同一科目の重複履修可(担当教員に確認すること)。 4単位を超えて修得した場合は、超過した単位を「選択必修科目」の単位とすることができる。 ①
00Z202	グローバル・ユーロ芸術史	2			春～夏学期		
00Z203	ヨーロッパの哲学Ⅰ		2		春～夏学期	2,3,4年	
00Z204	ヨーロッパの哲学Ⅱ		2		秋～冬学期		
00Z205	ヨーロッパの哲学Ⅲ		2		春～夏学期		
00Z206	ヨーロッパの哲学Ⅳ		2		春～夏学期		
00Z207	ヨーロッパの哲学Ⅴ		2		秋～冬学期		
00Z208	ヨーロッパの哲学Ⅵ		2		秋～冬学期		
00Z209	ヨーロッパの歴史Ⅰ		2		春～夏学期	3,4年	
00Z210	ヨーロッパの歴史Ⅰ		2		秋～冬学期		
00Z211	ヨーロッパの歴史Ⅱ		2		未定	2,3,4年	左記の「選択必修科目」のうちから、20単位以上修得すること。 同一科目の重複履修可(担当教員に確認すること)。 ②③④
00Z212	ヨーロッパの歴史Ⅲ		2		春～夏学期		
00Z213	ヨーロッパの歴史Ⅲ		2		秋～冬学期		
00Z216	ヨーロッパの文学Ⅰ		2		未定		
00Z217	ヨーロッパの文学Ⅰ		2		未定		
00Z218	ヨーロッパの文学Ⅱ		2		未定		
00Z219	ヨーロッパの文学Ⅲ		2		秋～冬学期	2,3,4年	
00Z220	ヨーロッパの文学Ⅳ		2		春～夏学期		
00Z221	ヨーロッパの文学Ⅴ		2		春～夏学期		
00Z222	ヨーロッパの文学Ⅵ		2		秋～冬学期		
00Z223	ヨーロッパの文学Ⅶ		2		春～夏学期		
00Z241	ヨーロッパの文学Ⅶ		2		秋～冬学期		
00Z231	ヨーロッパの文学Ⅷ		2		春～夏学期		
00Z224	ヨーロッパの文学Ⅷ		2		秋～冬学期		
00Z225	ヨーロッパの文学Ⅸ		2		春～夏学期		
00Z226	ヨーロッパの文学Ⅹ		2		春～夏学期		
00Z227	ヨーロッパの文学Ⅹ		2		秋～冬学期		
00Z228	ヨーロッパの文学Ⅺ		2		春～夏学期		
00Z229	ヨーロッパの文学Ⅺ		2		秋～冬学期		
00Z230	ヨーロッパの文学Ⅻ		2		春～夏学期		
00Z242	ヨーロッパの文学ⅩⅢ		2		春～夏学期		
00Z243	ヨーロッパの文学ⅩⅢ		2		秋～冬学期		
00Z232	ヨーロッパの芸術Ⅰ		2		春～夏学期		
00Z233	ヨーロッパの芸術Ⅱ		2		春～夏学期		
00Z234	ヨーロッパの芸術Ⅲ		2		秋～冬学期		
00Z235	ヨーロッパの芸術Ⅳ		2		春～夏学期		
00Z240	ヨーロッパの芸術Ⅳ		2		秋～冬学期		
00Z236	ヨーロッパの現代Ⅰ		2		春～夏学期		
00Z237	ヨーロッパの現代Ⅱ		2		秋～冬学期		
00Z238	ヨーロッパの現代Ⅲ		2		秋～冬学期		
00Z239	ヨーロッパの現代Ⅳ		2		秋～冬学期		

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
※構成科目の一覧は2021年度の実績に基づく開講予定で変更される可能性があります。

人間科学部【共生の生態】

プログラム名	和文	人間科学（共生の生態）
	英文	HUMAN SCIENCES (WHAT IS LIVING TOGETHER?)
開設学部	人間科学部	
募集対象者	2022年度に外国語学部外国語学科の2年次に在学する正規学生	
修了要件	24単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を12単位以上修得しなければならない。
趣旨・概要	「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。 本プログラムは、そのうちの学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、人間科学（共生の生態）に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。多様な文化的・社会的背景をもった人々が、国内外で出会う状況が生まれている今日、災害や紛争といった状況下ではもちろん、日常生活においても共生が求められている。本プログラムでは人間科学部の多様な専門性を活かして、さまざまな角度から共生について学ぶことを通じ、共生の実現に貢献できる人材を養成することを目標とする。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を得た方に修了認定証を授与する。 ①複眼的な思考を持ち、人々の多様性を理解できる。 ②人々と対話し関係を築き協働することについて、自分の意見を持ち、論じることができる。 ③共生に関して学んだことを応用できる。	
カリキュラムの構成	上記の到達目標を達成するために6つの科目群を配置し、共生について多面的な履修を促す。共生そのものをテーマとしてとり上げる授業と、共生に関連するテーマを扱う授業がある。 ・基礎科目群 人間科学部で学ぶための基礎的な科目群 ・行動学科目群 心理学、行動学、死生学などに関わる科目群 ・社会学科目群 社会学、文化人類学、福祉、思想などに関わる科目群 ・教育学科目群 教育学の理論と教育現場に関わる科目群 ・共生学科目群 共生そのものを考える科目群 ・G30科目群 英語による科目群	
履修資格・条件	募集人員は若干名で、履修申請書（志望理由）及び成績審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。	
前提知識の目安	前提知識は不要。	
履修申請	本学部プログラムの履修を希望する者は、所定の期日までに、人間科学部教務係へ、「学部プログラム履修申請書」および大阪大学の「成績証明書」を提出してください。「学部プログラム履修申請書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できます。	
問合せ先	人間科学部 教務係 TEL: 06-6879-8012 FAX: 06-6879-8081 Email: jinka-kyomu@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
		必修	選択	選択			
010667	人間科学概論		2		春～夏学期	2年次春学期以降	①②③
010723	自然科学と人間科学		2		春～夏学期	2年次春学期以降	①②③
010724	人文学と人間科学		2		春～夏学期	2年次春学期以降	①②③
010729	行動学概論（心理学概論）		2		秋～冬学期	2年次秋学期以降	①②③
010669	社会学概論		2		秋～冬学期	2年次秋学期以降	①②③
010670	教育学概論		2		秋～冬学期	2年次秋学期以降	①②③
010671	共生学概論		2		秋～冬学期	2年次秋学期以降	①②③
〈行動学科目〉							
010734	臨床死生学・老年行動学（福祉心理学）		2		秋～冬学期	2年次秋学期以降	①②③
010663	人間環境論		2		秋～冬学期	2年次秋学期以降	①②③
010664	生活環境論		2		春～夏学期	2年次秋学期以降	①②③
010740	発達臨床心理学（障害者・障害児心理学）		2		夏（集中）	2年次秋学期以降	①②③
〈社会学科目〉							
010770	日本の現代思想		2		春～夏学期	2年次秋学期以降	①②③
010556	グローバル化と文化		2		春～夏学期	2年次秋学期以降	①②③
010170	現代社会学		2		秋～冬学期	2年次秋学期以降	①②③
010773	比較福祉論		2		秋学期	2年次秋学期以降	①②③
〈教育学科目〉							
010623	比較教育制度学		2		秋学期	2年次秋学期以降	①②③
010497	生涯教育学		2		秋～冬学期	2年次秋学期以降	①②③
010653	ジェンダーと教育 ※2		2		春～夏学期	2年次秋学期以降	①②③
010654	人権教育学論		2		春～夏学期	2年次秋学期以降	①②③
010648	教育哲学		2		春～夏学期	2年次秋学期以降	①②③
〈共生学科目〉							
010684	共生の人間学Ⅰ		2		春～夏学期	2年次秋学期以降	①②③
010685	共生の人間学Ⅱ		2		秋～冬学期	2年次秋学期以降	①②③
010688	共生社会論Ⅰ		2		春～夏学期	2年次秋学期以降	①②③
010689	共生社会論Ⅱ		2		春～夏学期	2年次秋学期以降	①②③
010690	共生社会論Ⅲ		2		秋～冬学期	2年次秋学期以降	①②③
010693	共生行動論Ⅰ		2		秋～冬学期	2年次秋学期以降	①②③
010694	共生行動論Ⅱ		2		夏（集中）	2年次秋学期以降	①②③
010697	共生教育論Ⅰ		2		春～夏学期	2年次秋学期以降	①②③
010698	共生教育論Ⅱ		2		秋～冬学期	2年次秋学期以降	①②③
010701	国際協力学Ⅰ		2		秋～冬学期	2年次秋学期以降	①②③
010702	国際協力学Ⅱ		2		秋～冬学期	2年次秋学期以降	①②③
010710	地域創生論Ⅱ		2		秋～冬学期	2年次秋学期以降	①②③
010713	コンフリクトと共生Ⅰ		2		秋～冬学期	2年次秋学期以降	①②③
010714	コンフリクトと共生Ⅱ		2		春～夏学期	2年次秋学期以降	①②③
〈G30科目〉							
Z26017	Disaster Prevention and International Cooperation (教員変更もしくは不開講の可能性あり)		2		春～夏学期	3年次春学期以降	①②③
Z26021	Issues in Gerontology		2		春～夏学期	3年次春学期以降	①②③
Z26002	Gender and Education ※2		2		春～夏学期	3年次春学期以降	①②③
Z26008	Gender and Development		2		秋～冬学期	3年次秋学期以降	①②③
Z26067	Social Science Japanese Texts Reading		2		秋～冬学期	3年次秋学期以降	①②③
Z26024	Psychology of Aging		2		秋～冬学期	3年次秋学期以降	①②③

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

※2 2つの授業科目を修得した場合は、両方の科目とも認めます。

法学部【法学・政治学】

プログラム名	和文 法学・政治学 英文 Law and Politics
開設学部	法学部
募集対象者	2022年度に外国語学部外国語学科の2年次に在学する正規学生
修了要件	24単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を12単位以上修得しなければならない。
趣旨・概要	「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。 本プログラムは、そのうちの学部学生プログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、法学・政治学に関するプログラムを提供する。
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた学生に修了認定証を授与する。 ①法学・政治学について理解している。 ②法学・政治学について自分の意見を持ち、論じることができる。 ③法学・政治学を応用できる。
カリキュラムの構成	本プログラムでは、24単位以上の修得によって法学・政治学の中心部分を学ぶことができる。履修者には外国語による法学の学習機会も提供する。学習に必要なスキルを学ぶため、〈法学系基本科目〉、〈国際法系科目〉、〈政治学系基本科目〉、〈外国語による授業科目〉などの選択必修科目（10単位以上）が設定され、修得した能力をさらに発展させるため、〈法学系〉、〈政治学系〉などの選択科目が設定されている。選択必修要件以外の14単位（以上）は、選択必修科目、選択科目を問わず、科目表中のどの科目の履修によっても満たすことができる。ただし、〈国際法系科目〉とく外国語による授業科目）だけで24単位以上をとっても修了要件を満たすことにはならない。
履修資格・条件	現代世界の喫緊の課題に取り組むグローバルに活躍する上で不可欠な、法学・政治学の専門的な知識の中核となる部分を獲得し、法学・政治学の領域にかかわる外国語能力を高めるという意欲のある学生を歓迎する。 募集人員は、若干名。履修希望者多数の場合は、入学以降の成績（GPA）及び履修申請書（志望理由）を総合して選考し、履修者を決定する。
前提知識の目安	法学・政治学に関する大学初等レベルの知識を持っていることが望ましい。
履修申請	■頁を参照のこと。 直接提出する場合は、法学部教務係投函用ボックス（教務係入り口左横）に投函すること。
問合せ先	法学研究科教務係 E-Mail: houkyoumu@law.osaka-u.ac.jp

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期 (4学期制)	配当学年	備考	
		必修	選択	選択				
〈法学系基本科目〉								
026001	法学の基礎		2		春～夏	1年次以降	左記の授業科目のうちから、10単位以上修得すること。	
026310	憲法1		4		秋～冬	1年次以降		
020209	憲法2		4		春～夏	2年次以降		
020210	行政法1		2		春～夏	2年次以降		
020211	行政法2		2		秋～冬	2年次以降		
026311	民法1		4		秋～冬	1年次以降		
020223	民法2		4		春～夏	2年次以降		
026456	民法3		4		秋～冬	2年次以降		
〈国際法系〉								
020220	国際法1		2		春～夏	2年次以降		
020221	国際法2		2		秋～冬	2年次以降		
020301	国際法3		2		秋～冬	3年次以降		
020047	国際経済法		2		(未定)	3年次以降		
020302	国際取引法		2		春～夏	3年次以降		
〈政治学系基本科目〉								
026004	政治学の基礎		2		春～夏	1年次以降		
026005	国際関係論入門		2		秋～冬	1年次以降		
020063	政治学原論		4		秋～冬	2年次以降		
020234	西洋政治思想史		4		秋～冬	2年次以降		
020069	日本政治史		4		春～夏	2年次以降		
〈外国語による授業科目〉								
020292	特別講義 (Topics in Comparative Law)		2		春～夏	3年次以降		
020291	特別講義 (Topics in Japanese Law)		2		春～夏	3年次以降		
020663	特別講義 (Topics in Comparative Law)		2		秋～冬	3年次以降		
020664	特別講義 (Topics in Japanese Law)		2		秋～冬	3年次以降		
020643	特別講義 (日本における公法と私法の争点)		2		秋～冬	3年次以降		
〈法学系〉								
020212	行政法3		2		春～夏	3年次以降		
020213	行政法4		2		秋～冬	3年次以降		
020218	刑法1		4		春～夏	2年次以降		
020219	刑法2		4		秋～冬	2年次以降		
020021	刑事訴訟法		4		春～夏	3年次以降		
020225	民法4		2		春～夏	3年次以降		
026457	商法1 (会社法)		4		秋～冬	2年次以降		
026458	商法2 (総則・商行為)		2		春～夏	3年次以降		
020034	民事訴訟法		4		春～夏	3年次以降		
020032	経済法		2		春～夏	3年次以降		
020111	労働法		4		秋～冬	3年次以降		
020231	国際私法		2		春～夏	3年次以降		
026301	国際環境法		2		(未定)	3年次以降		
026302	国際人権法		2		秋～冬	3年次以降		
020323	中国法		4		春～夏	3年次以降		
020096	日本の法制度		2		春～夏	1年次以降 / 留学生対象・大学院同時開講		
〈政治学系〉								
020064	政治過程論		4		春～夏	3年次以降		
020068	西洋政治史		4		春～夏	3年次以降		
020073	行政学		4		春～夏	3年次以降		
020236	地方行政論		2		秋～冬	3年次以降		
020237	比較政治		4		(未定)	3年次以降		
026401	外交政策論		2		春～夏	3年次以降		
026403	平和学		2		春～夏	3年次以降		
026404	現代ヨーロッパ政治		2		秋～冬	3年次以降		
026405	国際行動論		2		春～夏	3年次以降		
026406	国際機構論		2		秋～冬	3年次以降		

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
※構成科目は変更する可能性があります。

【経済学部【経済学・経営学】

プログラム名	和文	経済学・経営学
	英文	Economics and Business Administration
開設学部	経済学部	
募集対象者	2022年度に外国語学部外国語学科の2年次に在籍する正規学生	
修了要件	24単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を12単位以上修得しなければならない。
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。 本プログラムは、そのうちの学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、経済学・経営学に関するプログラムを提供する。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与します。 ①経済学・経営学の基礎について理解している。 ②経済学・経営学の理論を現実の経済・経営問題に応用できる。 ③現実の経済・経営問題について自分の意見を持ち、論じることができる。	
カリキュラムの構成	上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、全学共通教育科目・基盤教養教育科目の「マクロ経済学の考え方」および「ミクロ経済学の考え方」の単位を修得することを前提として、専門教育科目から24単位以上を修得することを要件とします。 その際には、経済学部の正規学生と同様に、基礎的な科目群（「マクロ経済」「ミクロ経済」「経済史」「経営計算システム」「統計」）から3科目12単位を修得することを必修とします（選択必修科目）。 これにより、経済学・経営学の基本的な考え方を身に付けます。加えて、その他の関連科目（選択科目）から12単位、合計24単位以上を履修することで、応用力も涵養することを目標とします。	
履修資格・条件	募集人員は若干名とします。履修申請書（志望理由）及び成績等の審査の結果を総合して選考し、履修者を決定します。応募者多数の場合は、面接を課すこともあります。選考面接の日時等については、別途連絡します。	
前提知識の目安	全学共通教育科目・基盤教養教育科目の「マクロ経済学の考え方」および「ミクロ経済学の考え方」の知識を前提とします。 なお、全学共通教育科目・専門基礎教育科目の「解析学入門」および「線形代数入門」を履修していることが望ましいです。	
履修申請	本学部プログラムの履修を希望する者は、所定の期日までに、経済学部教務係へ、「学部プログラム履修申請書」および大阪大学の「成績証明書」を提出してください。「学部プログラム履修申請書」の用紙は、MLEのホームページから入手できます。	
問合せ先	経済学研究科 教務係 Tel: 06-6850-5204 E-mail: kyoumu@econ.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
		必修	選択	選択			
〈選択必修科目〉							
030101	マクロ経済		4		春～夏	2,3,4年	左記の授業科目のうちから、3科目12単位以上修得すること。
030102	ミクロ経済		4		秋～冬	1,2,3,4年	
030103	経済史		4		春～夏	2,3,4年	
030106	経営計算システム		4		秋～冬	1,2,3,4年	
030105	統計		4		春～夏	2,3,4年	
〈選択科目〉							
030201	財政		4		秋～冬	2,3,4年	
030205	労働経済		4		春～夏	3,4年	
030275	経済学史		4		秋～冬	2,3,4年	
030210	計量経済		4		秋～冬	2,3,4年	
030216	日本経済史1		4		春～夏	3年	
030218	西洋経済史1		4		秋～冬	2,3年	
030218	西洋経済史2		4		秋～冬	2,3年	
030223	経営管理		2		秋～冬	2,3,4年	
030224	組織論		2		春～夏	3,4年	
030225	マーケティング1		2		春～夏	3,4年	
030273	経営科学基礎		2		秋～冬	2,3,4年	
030274	応用経営科学		2		秋～冬	2,3,4年	
030232	データマイニング		2		秋～冬	2,3,4年	
030221	経営史1		2		秋～冬	2,3年	
030304	数理経済		2		秋～冬	3,4年	
030344	技術経営		2		秋～冬	3,4年	
030306	管理会計		2		秋～冬	3,4年	
030321	経済地理		2		秋～冬	3年	
030330	上級マクロ経済1		2		春～夏	3,4年	
030331	上級マクロ経済2		2		秋～冬	3,4年	
030332	上級ミクロ経済1		2		春～夏	3,4年	
030333	上級ミクロ経済2		2		秋～冬	3,4年	
030334	上級計量経済1		2		春～夏	3,4年	
030335	上級計量経済2		2		秋～冬	3,4年	
030309	上級統計		2		春～夏	3,4年	
030341	労働法		2		秋～冬	3年	
030342	社会保障法		2		秋～冬	3年	
030343	国際関係論入門		2		春～夏	3年	
	各論		2又は4				
	特殊講義		2又は4				

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
※構成科目の一覧は、2021年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

工学部【工学】

プログラム名	和文	工学
	英文	ENGINEERING
開設学部	工学部	
募集対象者	2022年度に外国語学部外国語学科の2・3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位	本学部ショートプログラム構成科目の12単位を修得すること。
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。 本プログラムは、そのうちの学部学生プログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、工学に関するプログラムを提供する。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた学生に修了認定証を授与する。 ①工学の基礎について理解している。 ②工学の基礎をもとに、自ら調査し資料を作成できる能力、議論、発表等するコミュニケーション能力を獲得している。	
カリキュラムの構成	本プログラムでは、上記の到達目標を達成するために、工学部（応用自然科学科、環境・エネルギー工学科、地球総合工学科、学科共通）が開講する科目より12単位を提供し、工学について幅広い知識の習得を促す。	
履修資格・条件	現代世界の喫緊の課題に取り組むグローバルに活躍する上で不可欠な、工学の専門的な知識の基礎となる部分を獲得し、工学の領域にかかわる外国語能力を高めようという意欲のある学生を歓迎する。 募集人員は、若干名。履修希望者多数の場合は、選考のうえ、履修者が決定される。	
前提知識の目安	工学に関する大学初等レベルの知識を持っていることが望ましい。	
履修申請	■真を参照のこと。 「学部プログラム履修申請書」の用紙は、MLEのホームページから入手できる。	
問合せ先	工学研究科教務課学生支援係 E-Mail: kou-kyomu-gs@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
		必修	選必	選択			
《応用自然科学科 開講科目》							
080005	先端科学序論Ⅱ	2			秋～冬	1年次以上	豊中開講
080369	バイオテクノロジー概論	2			春～夏	2年次以上	吹田開講
《環境・エネルギー工学科 開講科目》							
085012	環境・エネルギー工学概論Ⅰ	2			春～夏	1年次以上	(注1) (注2)
085013	環境・エネルギー工学概論Ⅱ	2			秋～冬	1年次以上	(注1) (注2) (注3)
《地球総合工学科 開講科目》							
083220	地球総合工学概論Ⅰ	2			春～夏	1年次以上	豊中開講
《工学部学科共通 開講科目》							
084010	総合科目Ⅰ	1			春	4年次以上	吹田開講
084020	総合科目Ⅱ	1			夏	4年次以上	吹田開講

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

※構成科目は変更する可能性があります。

(注1) MLEでの受入は若干名とします。

(注2) 全学教育推進機構の講義室で行い、受講人数に上限があります。環境・エネルギー工学科生の必修科目でもあるため、年度によってはMLEでの受講を制限する場合があります。

(注3) 環境・エネルギー工学概論Ⅰを必ず受講していること。なお、環境・エネルギー工学概論Ⅱを受講する環境・エネルギー工学科の学生に対しては、クラス研修(9月末)の出席とレポート提出により環境・エネルギー工学概論Ⅱの出席点をカウントしている。外国語学部生は、クラス研修に参加できないことが予想されるため、代替レポートの措置を検討する。

数理・データ科学教育研究センター【数理・データサイエンス・AI】

プログラム名	和文	数理・データサイエンス・AI
	英文	Mathematics・Data Science・AI
提案（幹事）部局	部局名	数理・データ科学教育研究センター
募集対象者	2022年度に外国語学部の2、3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を6単位以上修得しなければならない。
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムのうちショートプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部の学生に対して、情報学に関する基礎科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、情報学の幅広い知識を持った人材を育成することを目指す。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①現代のAI技術をその可能性と限界を踏まえた上で正しく理解し、統計情報を正しく解釈できるデータリテラシーを身に付ける。 ②実社会の問題解決に数理的思考・手法が有効であることを学び、理系的な発想を加えてデータ・AIを日常生活や仕事などで活用できる能力を身に付ける。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、全学教育推進機構が開講する授業科目の内、基盤教養教育科目によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、情報学を修得して将来社会で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。 応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	案内冊子を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。	
特記事項	《履修登録について》 全学教育推進機構の登録方法に従って、履修登録すること。 【 https://www.celas.osaka-u.ac.jp/ 】 人数制限のため登録出来ない場合があります。 全学教育推進機構の指示に従うこと。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@lang.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期	対象学年	備考
		必須	選必	選択			
	文理融合に向けた数理科学Ⅰ	2			春夏学期	2,3,4	文理融合に向けた数理科学Ⅰ・Ⅱは必須。
	文理融合に向けた数理科学Ⅱ	2			秋冬学期	2,3,4	
135273	数値シミュレーションの基礎		2		春夏学期	2,3,4	左記の授業科目のうちから、8単位以上を必修。
135275	数理モデリングの基礎		2		春夏学期	2,3,4	
137247	工学への数値シミュレーション		2		秋冬学期	2,3,4	
135293	データ科学のための数理		2		春夏学期	2,3,4	
135297	データ解析の実際		2		春夏学期	2,3,4	
137259	データ科学による課題解決入門		2		秋冬学期	2,3,4	
137245	工学と現代数学の接点		2		秋冬学期	2,3,4	
135265	経済学のための数理Ⅰ		2		春夏学期	2,3,4	
137239	経済学のための数理Ⅱ		2		秋冬学期	2,3,4	
135263	機械学習入門		2		春夏学期	2,3,4	
135269	高度情報リテラシー		2		春夏学期	2,3,4	
135287	データ科学入門Ⅰ		1		春夏学期	2,3,4	
135289	データ科学入門Ⅱ		1		春夏学期	2,3,4	
137255	データ科学入門Ⅲ		1		秋冬学期	2,3,4	
137257	データ科学入門Ⅳ		1		秋冬学期	2,3,4	
135263	機械学習入門		2		春夏学期	2,3,4	
135310	データサイエンスの基礎Ⅰ		2		春夏学期	2,3,4	
137268	データサイエンスの基礎Ⅱ		2		秋冬学期	2,3,4	
							合計12単位以上で修了

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

※履修申請者数により、抽選となる場合がありますので、留意してください。

※この構成科目表は2021年度を参考に作成したもので、変更の可能性があります。

外国語学部【英語・英米文化学】

プログラム名	和文	英語・英米文化学
	英文	English and Anglo-American Culture
開設学部	外国語学部	
募集対象者	2022年度に文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の2、3年次に在学する正規学生	
修了要件	24単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を12単位以上修得しなければならない。またプログラム就労時の1月末までに、TOEFL-ITP580以上ないしは別に定める(別表)の外部検定試験のスコアを提出すること。
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の学生に対して、英語・英米文化学に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、読み、書き、聞き、話す国際的な場面で通用する総合的な高い英語能力を涵養するとともに、英語圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想に通暁した人材を育成することを目指す。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①英語の四技能(リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング)に関して、別表にある所定の外部検定試験スコア相当の高い運用能力を有する。 ②英語圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想を深く理解するとともに、英語で関連テーマについて高度なレベルのプレゼンテーションやディスカッションを行うことができる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開設する授業科目の内、兼修語学の英語の中級科目(1単位の実習)、上級科目(2単位の演習)および学部共通科目の英語科目(2単位の演習)によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、英語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。募集人員は各学部若干名で、履修申請書(志望理由)および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。応募者には必要に応じて面接を課すことがある。プログラム構成科目の履修の際には、別表を参照し、所定のいずれかの外部検定試験のそれぞれの科目の基準を満たすスコアの写し(画像)を期限までに提出する必要がある。有効取得日、提出期限に注意のうえ、遺漏のないよう手続きをすること。なお、プログラムの履修申請にあたっては、特定の外部検定試験のスコア提出は不要とする。本プログラムへの登録が認められながらも科目履修において必要とされるスコアの提出が困難な者については、別途設置された準備コース(課外補習クラス)を受講することにより、プログラム履修開始年度の秋～冬学期以降の科目履修を目指すことができるものとする。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	<p>■頁を参照のこと。</p> <p>履修申請書はMLEのホームページから入手できる。</p> <p>※法学部の学生で、法学部に提出する場合は、法学部教務係投函用ボックス(教務係入り口左横)に投函すること。</p> <p>※工学部の学生が、申請する場合は、外国語学部豊中分室もしくは、外国語学部第3面事務室MLE担当者に提出すること。</p>	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム(MLE)担当者 Email: multilingual@lang.osaka-u.ac.jp http://www.mle.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期	対象学年	備考
		必須	選必	選択			
101232	英語(語学)a(A)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101232	英語(語学)a(A)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101233	英語(語学)a(B)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101234	英語(語学)a(C)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101234	英語(語学)a(C)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101235	英語(語学)a(D)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101235	英語(語学)a(D)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101236	英語(語学)a(E)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101236	英語(語学)a(E)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101237	英語(語学)a(F)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101237	英語(語学)a(F)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101238	英語(語学)a(G)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101239	英語(語学)a(H)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101240	英語学I b(E)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101241	英語(語学)b(A)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101242	英語(語学)b(B)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101243	英語(語学)b(C)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101244	英語(語学)b(D)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101245	英語(語学)b(E)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101246	英語(語学)b(F)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	2021年度不開講
101247	英語(語学)b(G)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101248	英語(語学)b(H)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101249	英語学I a(E)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101250	英語会話II a(A)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101251	英米文化IV a(C)(豊中開講)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101252	英語(文学)a(C)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101253	英米文化III a(C)(豊中開講)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101254	英語(文学)a(B)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101255	英語(語学)a(I)(豊中開講)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101256	英語(文学)a(A)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101257	英語(文学)a(D)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101259	英語学I a(G)(豊中開講)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101260	英語会話II b(A)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101261	英米文化III b(C)(豊中開講)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101262	英語(文学)b(C)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101263	英米文化IV b(C)(豊中開講)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101264	英語(文学)b(B)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101265	英語(語学)b(I)(豊中開講)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101266	英語(文学)b(A)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101267	英語(文学)b(D)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101269	英語学I b(G)(豊中開講)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101270	英米文化II a(B)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101271	英語(文化)a(B)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101272	英語(文化)a(C)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101273	英米文化I a(C)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101273	英米文化I a(C)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101274	英語(文化)a(E)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101275	英語(文化)a(F)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101276	英語(文化)a(G)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101277	英語(文化)a(H)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101278	英語(文化)a(I)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101279	英米文化II b(B)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101280	英語(文化)b(B)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101281	英語(文化)b(C)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101282	英米文化I b(C)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101283	英語(文化)b(E)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101284	英語(文化)b(F)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101285	英語(文化)b(G)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101286	英語(文化)b(H)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101287	英語(文化)b(I)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101289	英語(コミュニケーション)a(B)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101290	英語(文化)a(D)(豊中開講)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期	対象学年	備 考
		必須	選必	選択			
101291	英語（コミュニケーション） a (D)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101292	英語（コミュニケーション） a (E)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101293	英語（コミュニケーション） a (F)（豊中開講）		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101294	英語（コミュニケーション） a (A)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101295	英語（コミュニケーション） a (C)		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101296	英語会話 I a (A)（豊中開講）		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101298	英語（コミュニケーション） b (B)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101299	英語（文化） b (D)（豊中開講）		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101300	英語（コミュニケーション） b (D)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101301	英語（コミュニケーション） b (E)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101302	英語（コミュニケーション） b (F)（豊中開講）		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101303	英語（コミュニケーション） b (A)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101304	英語（コミュニケーション） b (C)		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101305	英語会話 I b (A)（豊中開講）		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101306	英語学 I a (B)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101307	英語学 I a (C)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101308	英語学 I a (A)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101309	英語学 I b (B)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101310	英語学 I b (C)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101311	英語学 I b (A)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101312	英語学 II a (A)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101313	英語学 II a (B)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101313	英語学 II a (B)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101314	英語学 II a (C)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101315	英語学 II a (D)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101316	英語学 II b (A)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101317	英語学 II b (B)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101318	英語学 II b (C)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101319	英語学 II b (D)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101320	英文学 I a (A)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101321	英語作文 II a (C)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101322	英文学 I a (C)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101323	英文学 I a (B)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101324	英文学 I b (A)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101325	英語作文 II b (C)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101326	英文学 I b (C)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101327	英文学 I b (B)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101328	英文学 II a (A)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101329	英文学 II a (B)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101330	英文学 II a (C)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101331	英文学 II b (A)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101332	英文学 II b (B)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101333	英文学 II b (C)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101334	英米文化 I a (A)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101335	英米文化 I a (B)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101336	英米文化 I b (A)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101337	英米文化 I b (B)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101338	英語（文学） a (E)（豊中開講）		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101339	英語（文学） b (E)（豊中開講）		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101340	英文学 II a (E)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101341	英文学 II b (E)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101342	英米文化 II a (A)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101344	英米文化 II b (A)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101345	英米文化 II a (C) 集中		2.0			2.3.4年	
101346	英米文化 III a (A)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101347	英米文化 III b (A)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101348	英米文化 IV a (B)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101349	英米文化 IV b (B)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101350	英米文化 V a		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101351	英米文化 V b		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101352	英米文化 VI a		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101353	英米文化 VI b		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101354	英語（文化） a (A)（豊中開講）		1.0		春～夏学期	2.3.4年	
101355	英語会話 I a (B)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期	対象学年	備 考
		必須	選必	選択			
101356	英語会話 I a (C)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101357	英語会話 I a (D)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101358	英語会話 I a (E)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101359	英語会話 I a (F)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101360	英語（文化） b (A)（豊中開講）		1.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101361	英語会話 I b (B)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101362	英語会話 I b (C)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101363	英語会話 I b (D)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101364	英語会話 I b (E)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101365	英語会話 I b (F)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101366	英米文化 IV a (A)（豊中開講）		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101367	英語会話 II a (B)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101368	英語会話 II a (C)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101369	英語会話 II a (D)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101370	英語会話 II a (E)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101371	英米文化 IV b (A)（豊中開講）		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101372	英語会話 II b (B)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101373	英語会話 II b (C)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101374	英語会話 II b (D)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101375	英語会話 II b (E)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101376	英語作文 I a (A)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101377	英語作文 I b (A)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101378	英語作文 II a (A)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101379	英語作文 II b (A)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101391	英語学 II a (E)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	2021年度不開講
101392	英文学 II a (D)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101393	英米文化 III a (C)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101394	英語作文 I a (B)（豊中開講）		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101395	英語作文 II a (B)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101396	英語学 II b (E)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101397	英文学 II b (D)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101398	英米文化 III b (B)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101399	英語作文 I b (C)（豊中開講）		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101400	英語作文 II b (B)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101401	英語学 I a (D)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	2021年度不開講
101402	英語学 I b (D)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101403	英語作文 I a (B)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101404	英語作文 I b (B)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101415	英語学 I a (F)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101416	英語学 I b (F)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101811	（学共－方法論）Academic Presentation Course (C)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101812	（学共－方法論）Academic Presentation Course (D)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101813	（学共－方法論）Academic Presentation Course (A)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	2021年度不開講
101814	（学共－方法論）Academic Presentation Course (B)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	2021年度不開講
101815	（学共－方法論）Academic Presentation Course (F)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101816	（学共－方法論）Academic Presentation Course (G)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101817	（学共－方法論）Academic Presentation Course (H)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101818	（学共－方法論）Academic Presentation Course (E)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101819	（学共－方法論）Academic Writing Course (E)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101820	（学共－方法論）Academic Writing Course (D)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101821	（学共－方法論）Academic Writing Course (F)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101822	（学共－方法論）Academic Writing Course (G)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101823	（学共－方法論）World English Seminar (C)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	2021年度不開講
101824	（学共－方法論）World English Seminar (D)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	2021年度不開講
101827	（学共－方法論）World English Seminar (E)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	
101828	（学共－方法論）World English Seminar (F)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	
101932	（学共－方法論）Academic Writing Course (A)		2.0		春～夏学期	2.3.4年	2021年度不開講
101933	（学共－方法論）Academic Writing Course (C)		2.0		秋～冬学期	2.3.4年	2021年度不開講

※学生は、上位課程の科目を履修できません。（例えば、博士前期課程の学生の博士後期課程科目履修等）ので、履修対象者が複数の課程にわたる場合は、科目構成等に留意ください。

※学生向け案内冊子の原稿作成にあたり、同一の項目については本提案書の記載事項をそのまま流用しますのでご留意ください。

※構成科目は2021年度の実績に基づく開講予定変更の可能性あります。

別表：英語・英米文化学プログラム・2022年度検定試験スコアの提出について

「英語・英米文化学構成科目」の履修については、所定の検定試験のいずれかを受検し、基準を満たすスコアの写し（画像）を期限までに提出する必要があります。有効取得日、提出期限に注意のうえ、遺漏のないよう手続きしてください。

履修・修得科目		各種要件等				プログラム修了要件	有効取得日	提出期限	
・英語（語学・文学・文化・コミュニケーション）a	2022年度 春～夏学期 履修登録要件						入学以後に取得したもの	4月の履修申請時にメール添付	最終期限：2022年4月15日(金)
		2022年度 春～夏学期 単位修得要件					入学以後で、なおかつ 2021年4月1日以降	単位修得年度の1月末日	
・英語（語学・文学・文化・コミュニケーション）b	2022年度 秋～冬学期 履修登録要件						入学以後に取得したもの	10月の履修申請時にメール添付	最終期限：2022年10月14日(金)
		2022年度 秋～冬学期 単位修得要件					入学以後で、なおかつ 2021年4月1日以降	単位修得年度の1月末日	2023年1月27日(金)
・（英語学・英文学・英語会話・英語作文）I a ・（英語学・英文学・英語会話・英語作文）II a ・英米文化（I、II、III、IV、V、VI）a	2022年度 春～夏学期 履修登録要件						入学以後に取得したもの	4月の履修申請時にメール添付	最終期限：2022年4月15日(金)
		2022年度 秋～冬学期 履修登録要件					入学以後に取得したもの	10月の履修申請時にメール添付	最終期限：2022年10月14日(金)
・（英語学・英文学・英語会話・英語作文）I b ・（英語学・英文学・英語会話・英語作文）II b ・英米文化（I、II、III、IV、V、VI）b					2022年度 秋～冬学期 単位修得の目安		入学以後で、なおかつ 2021年4月1日以降	単位修得年度の1月末日	2023年1月27日(金)
					2022年度 春～夏学期 履修登録要件		入学以後に取得したもの	4月の履修申請時にメール添付	最終期限：2022年4月15日(金)
・Academic Writing Course a/b ・Academic Presentation Course a/b ・World English Seminar a/b					2022年度 秋～冬学期 履修登録要件		入学以後に取得したもの	10月の履修申請時にメール添付	最終期限：2022年10月14日(金)
							入学以後でプログラム修了年度の前年度または当該年度に取得したもの	プログラム修了年度の1月末日	
試験種類	実用英語技能検定	準1級以上	準1級以上	準1級以上	—		※基準を満たす有効取得日内のスコアを過去に提出済みの場合は、再度の提出は不要です。 ※実用英語技能検定は更新制ではないため、入学以後に取得したものであれば特に有効期限を定めないものとします。		
	TOEIC (L&R)	580点以上	630点以上	730点以上	820点以上		※学内で実施される団体試験（TOEIC-IP、TOEFL-ITP）のスコアも有効とします。		
	TOEFL-ITP	500点以上	520点以上	550点以上	580点以上		※「（英語学・英文学・英米文化・英語会話・英語作文）I b・II b」の単位修得要件中に提示した点数はあくまで目安（単位修得に必要と想定される点数、目標とすべき点数）であり、基準点（必要条件）ではありませんが、提出されたスコアを参考にしたうえで成績評価がなされます。		
	TOEFL (iBT)	61点以上	68点以上	82点以上	92点以上				
	IELTS (Academic)	5.0以上	5.5以上	6.0以上	6.5以上				

【提出方法】

〈履修申請時〉

科目履修申請時にスコアを証明する箇所（検定試験の種類、受検年月日、氏名、スコアが印字されている部分）の画像を、メールに添付して履修科目とともに送付してください。

（送付先アドレス〈マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）〉：multilingual@lang.osaka-u.ac.jp、詳細はホームページ（http://www.mle.osaka-u.ac.jp/）を確認してください。）

〈単位修得時およびプログラム修了時〉

表中の提出期限までに、スコアを証明する箇所（検定試験の種類、受検年月日、氏名、スコアが印字されている部分）の画像を、メールに添付して送付してください。

（送付先アドレス〈マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）〉：multilingual@lang.osaka-u.ac.jp、詳細はホームページ（http://www.mle.osaka-u.ac.jp/）を確認してください。）

外国語学部【スペイン語・スペイン文化学】

プログラム名	和文	スペイン語・スペイン文化学
	英文	Spanish and Spanish Culture
開設学部	外国語学部	
募集対象者	2022年度に文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の2・3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を6単位以上修得しなければならない。また、全学共通教育科目のスペイン語初級の単位を修得している者には、スペイン語初級を免除しスペイン語中級4単位と講義6単位以上の修得で修了とみなす。
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムのうちショートプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の学生に対して、スペイン語・スペイン文化学に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、スペイン語のより高い運用能力を涵養するとともに、スペイン語圏研究に関する幅広い知識をもった人材を育成することを目指す。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①スペイン語の運用能力に関して、中級レベル(CEFR/A2もしくはB1相当)の能力を有する。 ②スペイン語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開講する授業科目の内、兼修語学のスペイン語初級およびスペイン語中級(1単位の実習科目)、およびスペイン語専攻の専攻科目の内、概論に該当する講義科目(2単位の講義科目)によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、スペイン語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。募集人員は各学部若干名で、履修申請書(志望理由)および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	■頁を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。 ※法学部の学生で、法学部に提出する場合は、法学部教務係投函用ボックス(教務係入り口左横)に投函すること。 ※工学部の学生が、申請する場合は、外国語学部豊中分室もしくは、外国語学部箕面事務室MLE担当者に提出すること。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム(MLE)担当者 Email: multilingual@lang.osaka-u.ac.jp http://www.mle.osaka-u.ac.jp/	

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数			開講学期	対象学年	備考
		必須	選必	選択			
101648	スペイン語初級a(A)(豊中開講)		1		春～夏	2,3,4	左記の授業科目の初級から2単位以上を選択必修すること。 ※春～夏学期と秋～冬学期は同じクラスを履修すること。
101654	スペイン語初級b(A)(豊中開講)		1		秋～冬	2,3,4	
101643	スペイン語初級a(B)		1		春～夏	2,3,4	
101649	スペイン語初級b(B)		1		秋～冬	2,3,4	
101645	スペイン語初級a(C)		1		春～夏	2,3,4	
101651	スペイン語初級b(C)		1		秋～冬	2,3,4	
101644	スペイン語初級a(D)		1		春～夏	2,3,4	
101650	スペイン語初級b(D)		1		秋～冬	2,3,4	
101646	スペイン語初級a(E)		1		春～夏	2,3,4	
101652	スペイン語初級b(E)		1		秋～冬	2,3,4	
101647	スペイン語初級a(F)		1		春～夏	2,3,4	
101653	スペイン語初級b(F)		1		秋～冬	2,3,4	
191629	※①② スペイン語初級I		1		通年	2,3,4	
192629	※①② スペイン語初級II		1		通年	2,3,4	
101633	※③④ スペイン語中級Ia(A)		1		春～夏	2,3,4	
101636	※③④ スペイン語中級Ib(A)		1		秋～冬	2,3,4	
101634	※③④ スペイン語中級Ia(B)		1		春～夏	2,3,4	
101637	※③④ スペイン語中級Ib(B)		1		秋～冬	2,3,4	
101635	※③④ スペイン語中級Ia(C)		1		春～夏	2,3,4	
101638	※③④ スペイン語中級Ib(C)		1		秋～冬	2,3,4	
101639	※③④ スペイン語中級IIa(A)		1		春～夏	2,3,4	左記の授業科目の中級IIから2単位を選択必修すること。 ※春～夏学期と秋～冬学期は同じクラスを履修すること。
101641	※③④ スペイン語中級IIb(A)		1		秋～冬	2,3,4	
101640	※③④ スペイン語中級IIa(B)		1		春～夏	2,3,4	
101642	※③④ スペイン語中級IIb(B)		1		秋～冬	2,3,4	左記の授業科目のうちから、6単位以上を選択必修。
101599	スペイン歴史・文化概論a	2			春～夏	2,3,4	
101600	スペイン歴史・文化概論b	2			秋～冬	2,3,4	
101601	スペイン語学概論a	2			春～夏	2,3,4	
101602	スペイン文学概論	2			秋～冬	2,3,4	

留意事項

- ※①「スペイン語初級I、II」については、文学部、人間科学部の学生は、卒業要件単位となり、1年次で修得した場合も当プログラムの修了要件として認めます。
- ※②「スペイン語初級I、II」については、文学部、人間科学部の学生で第2外国語としてではなく、全学共通教育科目の履修を希望する場合、および法学部、経済学部の学生で全学共通教育科目として履修を希望する場合は、事前に申し込みが必要で、認められた場合は履修できません。
- ※③スペイン語中級を履修するには、本プログラムのスペイン語初級(2単位)か全学共通教育科目のスペイン語初級I、II(2単位)を修得していることが必要です。
- ※④スペイン語中級IとIIはどちらから履修しても構いません。
- ※構成科目は2021年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

外国語学部【ポルトガル語・ポルトガル文化学】

プログラム名	和文	ポルトガル語・ポルトガル文化学
	英文	Portuguese and Portuguese Culture
開設学部	外国語学部	
募集対象者	2022年度に文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の2、3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を6単位以上修得しなければならない。
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムのうちショートプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の学生に対して、ポルトガル語・ポルトガル文化学に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、ポルトガル語のより高い運用能力を涵養するとともに、ポルトガル語圏研究に関する幅広い知識を持った人材を育成することを目指す。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①ポルトガル語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②ポルトガル語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開講する授業科目の内、兼修語学のポルトガル語初級およびポルトガル語中級（1単位の実習科目）、およびポルトガル語専攻の専攻科目の内、概論に該当する講義科目（2単位の講義科目）によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、ポルトガル語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	■頁を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。 ※法学部の学生で、法学部に提出する場合は、法学部教務係投函用ボックス（教務係入り口左横）に投函すること。 ※工学部の学生が、申請する場合は、外国語学部豊中分室もしくは、外国語学部箕面事務室MLE担当者に提出すること。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@lang.osaka-u.ac.jp http://www.mle.osaka-u.ac.jp/	

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
		必修	選択	選択			
101726	ポルトガル語初級 a (A) (豊中開講)		1		春～夏学期	2.3.4年	左記の授業科目のうちから、合計4単位以上を修得すること。
101728	ポルトガル語初級 b (A) (豊中開講)		1		秋～冬学期	2.3.4年	
101727	ポルトガル語初級 a (B)		1		春～夏学期	2.3.4年	
101729	ポルトガル語初級 b (B)		1		秋～冬学期	2.3.4年	
101665	ポルトガル語 1 (A) (豊中開講)		2		通年	2.3.4年	
101738	ポルトガル語 1 (B) (豊中開講)		2		通年	2.3.4年	
101666	ポルトガル語 2 (A) (豊中開講)		2		通年	2.3.4年	
101739	ポルトガル語 2 (B) (豊中開講)		2		通年	2.3.4年	
101667	ポルトガル語 3 (A) (豊中開講)		2		通年	2.3.4年	
101668	ポルトガル語 3 (B) (豊中開講)		2		通年	2.3.4年	
101669	ポルトガル語 4 (A) (豊中開講)		2		通年	2.3.4年	
101670	ポルトガル語 4 (B) (豊中開講)		2		通年	2.3.4年	
101671	ポルトガル語 5 (A) (豊中開講)		2		通年	2.3.4年	
101672	ポルトガル語 5 (B) (豊中開講)		2		通年	2.3.4年	
191943	※①特別外国語演習 (ポルトガル語) I (豊中)		2		春～夏学期	2.3.4年	左記の授業科目のうちから、2単位以上を修得すること。
192955	※①特別外国語演習 (ポルトガル語) II (豊中)		2		秋～冬学期	2.3.4年	
101730	ポルトガル語中級 a	1			春～夏学期	2.3.4年	文化概論 ab、語学概論 ab、文学概論 ab から 4 単位以上を修得すること。
101731	ポルトガル語中級 b	1			秋～冬学期	2.3.4年	
101692	※② ポルトガル語圏文化概論 a		2		春～夏学期	2.3.4年	
101929	※② ポルトガル語圏文化概論 b		2		秋～冬学期	2.3.4年	
101693	※② ポルトガル語圏語学概論 a		2		春～夏学期	2.3.4年	
101694	※② ポルトガル語圏語学概論 b		2		秋～冬学期	2.3.4年	
101695	※② (地域系科目) ポルトガル語圏文学概論 a		2		春～夏学期	2.3.4年	
101696	※② (地域系科目) ポルトガル語圏文学概論 b		2		秋～冬学期	2.3.4年	

※① 特別外国語演習（ポルトガル語）I、IIについては、文、人、法の学生は卒業要件単位となり、1年次に修得した場合も当プログラムの修了要件として認める。
特別外国語演習（ポルトガル語）IIについては、「特別外国語演習（ポルトガル語）I」を履修した学生、あるいは、同程度のポルトガル語力を有する学生のみ受講可能。

※② ポルトガル語圏語学概論、ポルトガル語圏文学概論については、ポルトガル語初級を2単位以上修得している者のみ履修を認める。

※構成科目は2021年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

外国語学部【イタリア語・イタリア文化学】

プログラム名	和文	イタリア語・イタリア文化学
	英文	Italian and Italian Culture
開設学部	外国語学部	
募集対象者	2022年度に文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の2、3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。 ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を6単位以上修得しなければならない。全学共通教育科目(マルチリンガル教育センター)のイタリア語初級Ⅰ、Ⅱ、イタリア語中級1.2の単位を修得している者には、イタリア語初級・中級を免除し、イタリア語講義4単位以上の修得で修了とみなす。
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムのうちショートプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の学生に対して、イタリア語・イタリア文化学に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。 これにより、イタリア語のより高い運用能力を涵養するとともに、イタリア語圏研究に関する幅広い知識を持った人材を育成することを目指す。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①イタリア語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②イタリア語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開講する授業科目の内、兼修語学のイタリア語初級およびイタリア語中級(1単位の実習科目)、およびイタリア語専攻の専攻科目の内、概論に該当する講義科目(2単位の講義科目)によって構成される。また、マルチリンガル教育センター提供のイタリア語初級Ⅰ、Ⅱ、中級1.2は豊中開講となる。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、イタリア語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。募集人員は各学部若干名で、履修申請書(志望動機)および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	■頁を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。 ※法学部の学生で、法学部に提出する場合は、法学部教務係投函用ボックス(教務係入り口左横)に投函すること。 ※工学部の学生が、申請する場合は、外国語学部豊中分室もしくは、外国語学部箕面事務室MLE担当者に提出すること。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム(MLE)担当者 Email: multilingual@lang.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数			開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
		必修	選必	選択			
101550	イタリア語初級a(A)(豊中開講)		1		春～夏	2,3,4	左記の授業科目のうち、初級から2単位以上を選択必修。 春～夏学期と秋～冬学期は同じクラスを履修すること。
101554	イタリア語初級b(A)(豊中開講)		1		秋～冬	2,3,4	
101547	イタリア語初級a(B)		1		春～夏	2,3,4	
101551	イタリア語初級b(B)		1		秋～冬	2,3,4	
101549	イタリア語初級a(C)		1		春～夏	2,3,4	
101553	イタリア語初級b(C)		1		秋～冬	2,3,4	
101548	イタリア語初級a(D)		1		春～夏	2,3,4	
101552	イタリア語初級b(D)		1		秋～冬	2,3,4	
191637	イタリア語初級Ⅰ(豊中)		1		春～夏	2,3,4	
192637	イタリア語初級Ⅱ(豊中)		1		秋～冬	2,3,4	
101543	イタリア語中級a(A)		1		春～夏	2,3,4	左記の授業科目のうち、中級から2単位以上を選択必修。 春～夏学期と秋～冬学期は同じクラスを履修すること。 イタリア語初級を先に2単位以上履修すること。
101545	イタリア語中級b(A)		1		秋～冬	2,3,4	
101544	イタリア語中級a(B)		1		春～夏	2,3,4	
101546	イタリア語中級b(B)		1		秋～冬	2,3,4	
193637	イタリア語中級(豊中)		1		春～夏	2,3,4	
194637	イタリア語中級(豊中)		1		秋～冬	2,3,4	
101523	イタリア言語文化概説Ⅰa		2		春～夏	2,3,4	左記の授業科目のうち、4単位以上を選択必修すること。
101524	イタリア言語文化概説Ⅰb		2		秋～冬	2,3,4	
101525	イタリア言語文化概説Ⅱa		2		春～夏	2,3,4	
101526	イタリア言語文化概説Ⅱb		2		秋～冬	2,3,4	
102093	イタリア語学講義a		2		春～夏	3,4	
102094	イタリア語学講義b		2		秋～冬	3,4	
102103	イタリア文学講義a		2		春～夏	3,4	
102104	イタリア文学講義b		2		秋～冬	3,4	
102107	イタリア歴史講義a		2		春～夏	3,4	
102108	イタリア歴史講義b		2		秋～冬	3,4	
102099	イタリア社会講義a		2		春～夏	3,4	
102100	イタリア社会講義b		2		秋～冬	3,4	
101531	イタリア文化講義Ⅰa		2		春～夏	3,4	
101532	イタリア文化講義Ⅰb		2		秋～冬	3,4	
101533	イタリア文化講義Ⅱa		2		春～夏	3,4	
101534	イタリア文化講義Ⅱb		2		秋～冬	3,4	
101535	イタリア文化講義Ⅲa		2		春～夏	3,4	
101536	イタリア文化講義Ⅲb		2		秋～冬	3,4	
							合計12単位以上で修了

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
 ※「イタリア語初級Ⅰ、Ⅱ」「イタリア語中級」については、文学部の学生は、卒業要件単位となり、1年次で修得した場合も当プログラムの修了要件として認めます。
 ※文学部の学生で第2外国語としてではなく、全学共通教育科目の履修を希望する場合、および人間科学部、法学部、経済学部の学生で全学共通教育科目として履修を希望する場合は、事前に申し込みが必要で、認められた場合は履修出来ます。
 ※イタリア語中級を履修するには、本プログラムのイタリア語初級(2単位)が全学共通教育科目のイタリア語初級(2単位)を履修していることが必要です。
 ※構成科目は2021年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

外国語学部【インドネシア語・インドネシア研究】

プログラム名	和文	インドネシア語・インドネシア研究
	英文	Indonesian and Indonesian Studies
開設学部	外国語学部	
募集対象者	2022年度に文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の2,3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を6単位以上修得しなければならない。
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムのうちショートプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の学生に対して、インドネシア語・インドネシア研究・東南アジア研究に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、インドネシア語のより高い運用能力を涵養するとともに、インドネシア研究・東南アジア研究に関する幅広い知識を持った人材を育成することを目指す。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①インドネシア語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②インドネシア及び東南アジアの言語、文学、社会、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、インドネシア語専攻の専攻科目の内、語学科目（2単位の語学科目）と概論に該当する講義科目（2単位の講義科目）によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、インドネシア語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。 応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	■頁を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。 ※法学部の学生で、法学部に提出する場合は、法学部教務係投函用ボックス（教務係入り口左横）に投函すること。 ※工学部の学生が、申請する場合は、外国語学部豊中分室もしくは、外国語学部箕面事務室MLE担当者に提出すること。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@lang.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
		必修	選必	選択			
100226	インドネシア語1（豊中）		2		通年	1.2.3.4	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。
100227	インドネシア語2（豊中）		2		通年	1.2.3.4	
100228	インドネシア語3（豊中）		2		通年	1.2.3.4	
100229	インドネシア語4（豊中）		2		通年	1.2.3.4	
100230	インドネシア語5（豊中）		2		通年	1.2.3.4	
100231	※①インドネシア語11		2		通年	2.3.4	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。 ※①インドネシア語を履修するには、先にインドネシア語1から5の単位を4単位以上履修していること。
100232	※①インドネシア語12		2		通年	2.3.4	
100233	※①インドネシア語13		2		通年	2.3.4	
100234	※①インドネシア語14		2		通年	2.3.4	
100235	※①インドネシア語15		2		通年	2.3.4	
102008	インドネシア文化概論（A）		2		春～夏	2.3.4	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。
102009	インドネシア文化概論（B）		2		秋～冬	2.3.4	
100455	東南アジア歴史概論 a		2		春～夏	2.3.4	
100456	東南アジア歴史概論 b		2		秋～冬	2.3.4	
100459	東南アジア文化概論 a		2		春～夏	2.3.4	
100460	東南アジア文化概論 b		2		秋～冬	2.3.4	
100461	東南アジア社会概論 a		2		春～夏	2.3.4	
100462	東南アジア社会概論 b		2		秋～冬	2.3.4	
100267	東南アジア地域研究概論（A）		2		春～夏	2.3.4	
102010	東南アジア地域研究概論（B）		2		秋～冬	2.3.4	
100244	インドネシア語学講義Ⅰ a		2		春～夏	3.4	
100245	インドネシア語学講義Ⅰ b		2		秋～冬	3.4	
100246	インドネシア語学講義Ⅱ a		2		春～夏	3.4	
100247	インドネシア語学講義Ⅱ b		2		秋～冬	3.4	
100248	インドネシア文化講義Ⅰ a		2		春～夏	3.4	
100250	インドネシア文化講義Ⅱ a		2		春～夏	3.4	
100251	インドネシア文化講義Ⅱ b		2		秋～冬	3.4	
100252	インドネシア文化講義Ⅲ a		2		春～夏	3.4	
100253	インドネシア文化講義Ⅲ b		2		秋～冬	3.4	
100263	東南アジア社会文化演習Ⅱ b（K）		2		秋～冬	3.4	
100266	東南アジア社会文化演習Ⅱ a（B）		2		春～夏	3.4	
100268	東南アジア社会文化演習Ⅱ b（B）		2		秋～冬	3.4	
合計12単位以上で修了							

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
※この構成科目表は2021年度を参考に作成したもので、変更の可能性があります。

外国語学部【スワヒリ語・アフリカ研究】

プログラム名	和文	スワヒリ語・アフリカ研究
	英文	Swahili and African Studies
提案(幹事)部局	部局名	外国語学部
募集対象者	2022年度に文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の2、3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を6単位以上修得しなければならない。
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムのうちショートプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の学生に対して、スワヒリ語・アフリカ研究に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、スワヒリ語のより高い運用能力を涵養するとともに、アフリカ研究に関する幅広い知識を持った人材を育成することを目指す。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①スワヒリ語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②アフリカの言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開講する授業科目の内、兼修語学のスワヒリ語初級およびスワヒリ語中級(1単位の実習科目)、およびスワヒリ語専攻の専攻科目の内、語学科目(2単位の語学科目)、概論に該当する講義科目(2単位の講義科目)によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、スワヒリ語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は各学部若干名で、履修申請書(志望動機)および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。 応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	■頁を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。 ※法学部の学生で、法学部に提出する場合は、法学部教務係投函用ボックス(教務係入り口左横)に投函すること。 ※工学部の学生が、申請する場合は、外国語学部豊中分室もしくは、外国語学部第Ⅱ面事務室MLE担当者に提出すること。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム(MLE)担当者 Email: multilingual@lang.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期 (4学期制)	配当学年	備考	
		必修	選必	選択				
102036	スワヒリ語初級a		1		春～夏	1.2.3.4	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。 「スワヒリ語初級」は、a. b 合わせて履修すること。	
102037	スワヒリ語初級b		1		秋～冬	1.2.3.4		
100741	スワヒリ語1(豊中開講)		2		通年	1.2.3.4		
100742	スワヒリ語2(豊中開講)		2		通年	1.2.3.4		
100743	スワヒリ語3(豊中開講)		2		通年	1.2.3.4		
100744	スワヒリ語4(豊中開講)		2		通年	1.2.3.4		
100745	スワヒリ語5(豊中開講)		2		通年	1.2.3.4		
102038	※①スワヒリ語中級a		1		春～夏	2.3.4		左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。 「スワヒリ語中級」は、a. b 合わせて履修すること。 ※①スワヒリ語を履修するには、先にスワヒリ語初級かスワヒリ語1から5の単位を4単位以上履修していること。
102039	※①スワヒリ語中級b		1		秋～冬	2.3.4		
100746	※①スワヒリ語11		2		通年	2.3.4		
100747	※①スワヒリ語12		2		通年	2.3.4		
100748	※①スワヒリ語13		2		通年	2.3.4		
100749	※①スワヒリ語14		2		通年	2.3.4		
100750	※①スワヒリ語15		2		通年	2.3.4		
100757	アフリカ地域論概説a		2		春～夏	2,3,4		
100758	アフリカ地域論概説b		2		秋～冬	2,3,4		
100761	アフリカ言語学概説a		2		春～夏	2,3,4	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。	
100762	アフリカ言語学概説b		2		秋～冬	2,3,4		
100759	アフリカ社会論概説a		2		春～夏	2,3,4		
100760	アフリカ社会論概説b		2		秋～冬	2,3,4		
100763	アフリカ言語学講義a		2		春～夏	3,4		
100764	アフリカ言語学講義b		2		秋～冬	3,4		
100765	アフリカ文学講義a		2		春～夏	3,4		
100766	アフリカ文学講義b		2		秋～冬	3,4		
100767	アフリカ文化講義a		2		春～夏	3,4		
100768	アフリカ文化講義b		2		秋～冬	3,4		
100769	アフリカ政治経済講義a		2		春～夏	3,4		
100770	アフリカ政治経済講義b		2		秋～冬	3,4		
100771	アフリカ地域講義I a		2		春～夏	3,4		
100772	アフリカ地域講義I b		2		秋～冬	3,4		
100773	アフリカ地域講義II a		2		春～夏	3,4		
100774	アフリカ地域講義II b		2		秋～冬	3,4		
合計12単位以上で修了								

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
※この構成科目表は2021年の実績に基づく開講予定で変更される可能性があります。

外国語学部【ベトナム語・東南アジア研究】

プログラム名	和文	ベトナム語・東南アジア研究
	英文	Vietnamese・Southeast Asian Studies
提案(幹事)部局	部局名	外国語学部
募集対象者	2022年度に文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の2、3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を6単位以上修得しなければならない。
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムのうちショートプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の学生に対して、ベトナム語・東南アジア研究に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、ベトナム語のより高い運用能力を涵養するとともに、東南アジア研究に関する幅広い知識を持った人材を育成することを目指す。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①ベトナム語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②ベトナム語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開講するベトナム語専攻の専攻科目の内、語学科目(2単位の語学科目)、概論に該当する講義科目(2単位の講義科目)によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、ベトナム語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は各学部若干名で、履修申請書(志望動機)および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。 応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	■頁を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。 ※法学部の学生で、法学部に提出する場合は、法学部教務係投函用ボックス(教務係入り口左横)に投函すること。 ※工学部の学生が、申請する場合は、外国語学部豊中分室もしくは、外国語学部箕面事務室MLE担当者に提出すること。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム【MLE】担当者 Email: multilingual@lang.osaka-u.ac.jp http://www.mle.osaka-u.ac.jp/	

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
		必修	選必	選択			
100369	※①ベトナム語1(豊中開講)		2		通年	1,2,3,4	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。 ※②のベトナム語を履修するには、先に※①のベトナム語を4単位以上履修していること。
100370	※①ベトナム語2(豊中開講)		2		通年	1,2,3,4	
100371	※①ベトナム語3(豊中開講)		2		通年	1,2,3,4	
100372	※①ベトナム語4(豊中開講)		2		通年	1,2,3,4	
100373	※①ベトナム語5(豊中開講)		2		通年	1,2,3,4	
100374	※②ベトナム語11		2		通年	2,3,4	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。 ※②のベトナム語を履修するには、先に※①のベトナム語を4単位以上履修していること。
100375	※②ベトナム語12		2		通年	2,3,4	
100376	※②ベトナム語13		2		通年	2,3,4	
100377	※②ベトナム語14		2		通年	2,3,4	
100378	※②ベトナム語15		2		通年	2,3,4	
100366	東南アジア社会文化概論		2		春集中	2,3,4	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。
100267	東南アジア地域研究概論(A)		2		春～夏	2,3,4	
102010	東南アジア地域研究概論(B)		2		秋～冬	2,3,4	
100455	東南アジア歴史概論a		2		春～夏	2,3,4	
100456	東南アジア歴史概論b		2		秋～冬	2,3,4	
100461	東南アジア社会概論a		2		春～夏	2,3,4	
100462	東南アジア社会概論b		2		秋～冬	2,3,4	
100459	東南アジア文化概論a		2		春～夏	2,3,4	
100460	東南アジア文化概論b		2		秋～冬	2,3,4	
100351	東南アジア言語講義a		2		春～夏	3,4	
100352	東南アジア言語講義b		2		秋～冬	3,4	
合計12単位以上で修了							

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

※この構成科目表は2021年度を参考に作成したもので、変更の可能性があります。

外国語学部【ウルドゥー語・南アジア地域文化研究】

プログラム名	和文	ウルドゥー語・南アジア地域文化研究
	英文	Urdu Language and Regional Culture of South Asia
提案（幹事）部局	部局名	外国語学部
募集対象者	2022年度に文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の2、3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を6単位以上修得しなければならない。
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムのうちショートプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した文学部、人間科学部、法学部、経済学部、工学部の学生に対して、ウルドゥー語・南アジア地域文化研究に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、ウルドゥー語のより高い運用能力を涵養するとともに、南アジア地域文化研究に関する幅広い知識を持った人材を育成することを目指す。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①ウルドゥー語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②ウルドゥー語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開講する授業科目の内、ウルドゥー語専攻の専攻科目の内、語学科目（2単位の語学科目）、概論に該当する講義科目（2単位の講義科目）によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、ウルドゥー語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。 応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	■頁を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。 ※法学部の学生で、法学部に提出する場合は、法学部教務係投函用ボックス（教務係入り口左横）に投函すること。 ※工学部の学生が、申請する場合は、外国語学部豊中分室もしくは、外国語学部箕面事務室MLE担当者に提出すること。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@lang.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期	配当学年	備考
		必修	選必	選択			
100525	※①ウルドゥー語2（豊中開講）	2			通年	1.2.3.4	左記の必修科目4単位は履修すること。 ※②ウルドゥー語を履修するには、先に※①ウルドゥー語を4単位以上を履修していること。
100530	※②ウルドゥー語12	2			通年	2.3.4	
100524	※①ウルドゥー語1（豊中開講）	2			通年	1.2.3.4	左記の授業科目のうちから、2単位以上を選択必修すること。
100526	※①ウルドゥー語3（豊中開講）	2			通年	1.2.3.4	
100527	※①ウルドゥー語4（豊中開講）	2			通年	1.2.3.4	
100528	※①ウルドゥー語5（豊中開講）	2			通年	1.2.3.4	
100529	※②ウルドゥー語11	2			通年	2.3.4	左記の授業科目のうちから、2単位以上を選択必修すること。 ※②ウルドゥー語を履修するには、先に※①ウルドゥー語を4単位以上履修していること。
100531	※②ウルドゥー語13	2			通年	2.3.4	
100532	※②ウルドゥー語14	2			通年	2.3.4	
100533	※②ウルドゥー語15	2			通年	2.3.4	左記の授業科目のうちから、2単位以上を選択必修。
100540	南アジア文化概論 a（A）	2			春～夏	2.3.4	
100541	南アジア文化概論 b（A）	2			秋～冬	2.3.4	
100523	南アジア政治経済講義 I a	2			春～夏	3.4	
100542	南アジア政治経済講 I b	2			秋～冬	3.4	合計12単位以上で修了
100568	南アジア政治経済講義 II a	2			春～夏	3.4	
100543	南アジア政治経済講 II b	2			秋～冬	3.4	

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
※この構成科目表は2021年度を参考に作成したもので、変更の可能性があります。

2022年度 マルチリンガル・エキスパート養成（MLE）大学院プログラム紹介

人文学研究科【人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）】

プログラム名	和文 人文学（グローバル・アジア・スタディーズ） 英文 Humanities (Global Asian Studies)
開設研究科	人文学研究科
履修対象者	下記の履修資格・条件を満たす修士もしくは博士前期課程
修了要件	修了要件単位（科目）数 本大学院プログラム科目を14単位以上履修すること。7単位以上は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは修了要件単位となる科目で修了のために利用する単位数以上の余分に追加された単位であること。 14単位以上
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修することで、様々な分野にも視野を向け、アジアの古代～現代のあらゆる時代に関わる思想、歴史、文学、芸術などの人文学の基礎知識、理論、方法論を学ぶための授業を提供する。本プログラムの履修を通じて、幅広い人文学的教養と高度な専門性を備えたグローバル人材を育成する。
到達目標 (修了時に身につく能力)	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①アジアの文化・歴史・思想全般に関する基礎知識を習得している。 ②アジアの文化・歴史・思想を研究するための方法を習得している。 ③アジアの文化・歴史・思想の個別主題についての専門知識を習得している。 ④アジア諸言語の高度な運用能力を習得している。 DWAAの到達目標 ◎異なる分野にも視野を向け知的地平を広げることができる。 ◎新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。
カリキュラムの構成	<ul style="list-style-type: none"> 「グローバルフィロソフィー」「世界の中のアジア史」「グローバルアジア研究」「広域アジア史」「アジアの思想史」「アジアの芸術史」「アジアの文化と社会」「中国語圏文学」「中国の文化と社会」の科目群を設け、科目群ごとに1～5の科目を配置する。 豊富な選択肢のなかから自由に組み合わせることで選択できるため、履修者の関心に応じて、一般性（地域横断的な知と分野横断的な知）（上記①に対応）、専門性（上記③に対応）のいずれにも焦点化が可能である。 高度な外国語運用能力の養成のため、文献講読も開講する（上記④に対応）。 上記②については、各科目群の基礎的な科目をもって対応する。
履修資格・条件	<p>【履修対象】</p> <ol style="list-style-type: none"> マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」を修了した学生で、2022年4月に、人文学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻応用日本学プログラムのいずれかに入学する者。 上記1以外の者で、2022年4月に、人文学研究科博士前期課程の外国学専攻、言語文化学専攻、日本学専攻、応用日本学プログラムのいずれかに入学する者（又は、10月入学の者は2021年10月に言語文化研究科の博士前期課程に入学した者）で特に希望する者。 <p>【定員】 若干名 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム修了生以外は選考の上、履修生を決定する。</p>
前提知識の目安	アジアの人文学に関する学部レベルの専門知識を有すること。 アジア諸地域の言語、文化、歴史、芸術、思想に関心があり、独自に問題を設定して、それについて粘り強く探求する意欲を持つ学生を歓迎する。
特記事項	大阪大学大学院人文学研究科は、大学院文学研究科と大学院言語文化研究科の統合によって、2022年4月に発足する予定である。 学部プログラム時に履修した同じ名称の科目の履修を原則として認める。
履修申請	■頁を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。
問合せ先	人文学研究科教務係 Email: bunsouhaku-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期	開講部局	課 程	備 考
		必 修	選 択	選 択				
20Z000	世界の中のアジア史 (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	①
20Z001	世界の中のアジア史 (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	①
20Z002	グローバルフィロソフィー (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	②
20Z003	グローバル・アジア研究Ⅰ (M)			2	不開講	人文学研究科	博士前期	②
20Z004	グローバル・アジア研究Ⅱ (M)			2	不開講	人文学研究科	博士前期	②
20Z005	グローバル・アジア研究Ⅲ (M)			2	不開講	人文学研究科	博士前期	②
20Z006	広域アジア史Ⅰ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	③
20Z007	広域アジア史Ⅱ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	③
20Z008	広域アジア史Ⅲ (M)			2	不開講	人文学研究科	博士前期	③
20Z009	広域アジア史Ⅳ (M)			2	不開講	人文学研究科	博士前期	③
20Z010	広域アジア史Ⅴ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	③
20Z011	アジアの思想史Ⅰ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	③
20Z012	アジアの思想史Ⅱ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	③
20Z026	アジアの思想史Ⅲ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	③
20Z027	アジアの思想史Ⅳ (M)			2	不開講	人文学研究科	博士前期	③
20Z014	アジアの思想史Ⅴ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	③
20Z015	アジアの芸術史 (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	③
20Z016	アジアの文化と社会Ⅰ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	③
20Z017	アジアの文化と社会Ⅱ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	③
20Z018	中国語圏文学Ⅰ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	③④
20Z019	中国語圏文学Ⅱ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	③④
20Z020	中国語圏文学Ⅲ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	③④
20Z021	中国語圏文学Ⅳ (M)			2	不開講	人文学研究科	博士前期	③④
20Z022	中国語圏文学Ⅴ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	③④
20Z023	中国の文化と社会Ⅰ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	③
20Z024	中国の文化と社会Ⅱ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	③
20Z025	中国の文化と社会Ⅲ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	③

※学生は、上位課程の科目を履修できません（例えば、博士前期課程の学生は博士後期課程の科目を履修することはできません）。
履修対象者が複数の課程にわたる場合は、科目構成等にご留意ください。
※構成科目の一覧は令和3年度を実績に基づく開講予定で変更される可能性があります。

人文学研究科【人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）】

プログラム名	和文 人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ） 英文 Humanities (Global Eurostudies)
開設研究科	人文学研究科
履修対象者	下記履修資格・条件を満たす修士・もしくは博士前期課程
修了要件	修了要件単位(科目)数 本大学院プログラム科目を14単位以上修得すること。ただし、7単位以上は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは修了要件単位となる科目で修了のために利用する単位数以上の余分に追加された単位であること。
	14単位以上
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修することで、様々な分野にも視野を向け、ヨーロッパの古代～現代のあらゆる時代に関わる思想、歴史、文学、芸術などの人文学の基礎知識、理論、方法論を学ぶための授業を提供する。本プログラムの履修を通じて、幅広い人文学的教養と高度な専門性を備えたグローバル人材を育成する。
到達目標 (修了時に身につく能力)	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①ヨーロッパの文化・歴史・思想全般に関する基礎知識を習得している。 ②ヨーロッパの文化・歴史・思想を研究するための方法を習得している。 ③ヨーロッパの文化・歴史・思想の個別主題についての専門知識を習得している。 ④ヨーロッパ言語の高度な運用能力を習得している。 DWAAの到達目標 ◎異なる分野にも視野を向け知的地平を広げることができる。 ◎新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。
カリキュラムの構成	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヨーロッパの哲学」「ヨーロッパの歴史」「ヨーロッパの文学」「ヨーロッパの芸術」「ヨーロッパの現代」の科目群を設け、科目群ごとに3～13の科目を配置する。 ・豊富な選択肢のなかから自由に組み合わせるため、履修者の関心に応じて、一般性（地域横断的な知と分野横断的な知）（上記①に対応）、専門性（上記③に対応）のいずれにも焦点化が可能である。 ・高度な外国語運用能力の養成のため、文献講読、ネイティブ教員による英・独・仏語授業も開講する（上記④に対応）。 ・上記②については、各科目群の基礎的な科目をもって対応する。
履修資格・条件	<p>【履修対象】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」を修了した学生で、2022年4月に、人文学研究科の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻、応用日本学プログラムのいずれかに入学する者。 2. 上記1以外のもので、2022年4月に、人文学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻、応用日本学プログラムのいずれかに入学する者（又は、10月入学の者は2021年10月に言語文化研究科の博士前期課程に入学した者）で特に希望する者。 <p>【定員】 若干名 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム修了生以外は選考の上、履修生を決定する。</p>
前提知識の目安	ヨーロッパの人文学に関する学部レベルの専門知識を有すること。 ヨーロッパ諸地域の言語、文化、歴史、芸術、思想に関心があり、独自に問題を設定して、それについて粘り強く探求する意欲を持つ学生を歓迎する。
特記事項	大阪大学大学院人文学研究科は、大学院人文学研究科と大学院言語文化研究科の統合によって、2022年4月に発足する予定である。 学部プログラム時に履修した同じ名称の科目の履修を原則として認める。
履修申請	■頁を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。
問合せ先	人文学研究科教務係 Email: bunsouhaku-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数			開講学期	開講部局	課程	備考
		必修	選必	選択				
20Z200	ヨーロッパの哲学Ⅰ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z201	ヨーロッパの哲学Ⅱ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
20Z202	ヨーロッパの哲学Ⅲ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z203	ヨーロッパの哲学Ⅳ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z204	ヨーロッパの哲学Ⅴ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
20Z205	ヨーロッパの哲学Ⅵ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
20Z206	ヨーロッパの歴史Ⅰ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z207	ヨーロッパの歴史Ⅱ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
20Z208	ヨーロッパの歴史Ⅲ (M)			2	未定	人文学研究科	博士前期	
20Z209	ヨーロッパの歴史Ⅳ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z210	ヨーロッパの歴史Ⅴ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
20Z211	ヨーロッパの文学Ⅰ (M)			2	未定	人文学研究科	博士前期	
20Z212	ヨーロッパの文学Ⅱ (M)			2	未定	人文学研究科	博士前期	
20Z213	ヨーロッパの文学Ⅲ (M)			2	未定	人文学研究科	博士前期	
20Z214	ヨーロッパの文学Ⅳ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
20Z215	ヨーロッパの文学Ⅴ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z216	ヨーロッパの文学Ⅵ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z217	ヨーロッパの文学Ⅶ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
20Z218	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z219	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	①②③④
20Z220	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z221	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
20Z222	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z223	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
20Z224	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z225	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
20Z226	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z227	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
20Z228	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z229	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
20Z230	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z231	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
20Z232	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z233	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
20Z234	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)			2	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z235	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)			2	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	

※構成科目の一覧は2021年度の実績に基づく開講予定で、変更の可能性があります。

人間科学研究科【人間科学（共生の生態）】

プログラム名	和文 人間科学（共生の生態） 英文 HUMAN SCIENCES (WHAT IS LIVING TOGETHER?)
開設研究科	人間科学研究科
履修対象者	下記の履修資格・条件を満たす修士
修了要件	修了要件単位(科目)数 本大学院プログラム科目を14単位以上履修すること。7単位以上は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは修了要件単位となる科目で修了のために利用する単位数以上の余分に追加された単位であること。
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム(Double-Wing Academic Architecture)に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域が学修できるよう人間科学（共生の生態）に関する科目で構成されたプログラムを提供する。多様な文化的・社会的背景をもった人々が、国内外で出会う状況が生まれている今日、災害や紛争といった状況下でももちろん、日常生活においても共生が求められる。本プログラムでは人間科学研究科の多様な専門性を生かして、共生について複数の学問領域にわたって学ぶことを通じ、社会的公正のあり方を問い、社会課題の解決に取り組む、共生の実現に貢献できる人材を養成することを目標とする。
到達目標 (修了時に身につく能力)	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を得た方に修了認定証を授与する。 ①複眼的な思考を持ち、人々の多様性を理解できる。 ②人々と対話し関係を築き協働することについて、自分の意見を持ち、論じることができる。 ③共生に関して学んだことを実践に応用したり、課題解決のために生かしたりすることができる。 ④異なる分野にも視野を向け知的地平を広げることができる。 ⑤新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。
カリキュラムの構成	上記の到達目標を達成するために4つの学系から提供される科目群を配置し、共生について多面的な履修を促す。共生そのものをテーマとしてとり上げる授業と、共生に関連するテーマを扱う授業がある。 行動学系科目群 心理学、行動学、死生学などに関わる科目群 社会学・人間学系科目群 社会学、文化人類学、福祉、思想などに関わる科目群 教育学系科目群 教育学の理論と教育現場に関わる科目群 共生学系科目群 共生そのものを考える科目群
履修資格・条件	【履修対象】 1. マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「人間科学（共生の生態）」を修了した学生で、2022年4月に、人文学研究科*の博士前期課程に入学する者。 2. 上記1以外の者で、2022年4月に、人文学研究科博士前期課程の外国学専攻、言語文化学専攻、日本学専攻、応用日本学プログラムのいずれかに入学する者（又は、10月入学の者は2021年10月に言語文化研究科の博士前期課程に入学した者）で特に希望する者。 【定員】 若干名 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム修了生以外は選考の上、履修生を決定する。
前提知識の目安	前提知識は不要。
履修申請	■頁を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。
問合せ先	人間科学研究科教務係 Email: jinka-kyomu@office.osaka-u.ac.jp
特記事項	大阪大学大学院人文学研究科は、大学院文学研究科と大学院言語文化研究科の統合によって、2022年4月に発足する予定である。 人文学研究科*は、その中の外国学専攻、言語文化学専攻、日本学専攻（応用日本学プログラム）を指す。 人文学専攻、芸術学専攻、日本学専攻（基盤日本学プログラム学専攻）は対象外である。

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期	開講部局	課 程	備 考
		必 修	選 必	選 択				
〈行動学系科目〉								
	比較発達心理学特講Ⅰ		2		不開講	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211860	比較発達心理学特講Ⅱ (心理的アセスメントに関する理論と実践)		2		春～夏学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
	環境行動学特講Ⅰ		2		不開講	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
〈社会学・人間学系科目〉								
	比較思想史特講		2		不開講	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
	人類学理論特講		2		不開講	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
	比較社会学特講		2		不開講	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
新設	※⑥現代社会学特講（a）		2		春～夏学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
新設	※⑦現代社会学特講（b）		2		秋～冬学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211887	医療社会学特講		2		秋～冬学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
〈教育学系科目〉								
211265	教育制度学特講		2		夏学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211270	生涯教育学特講		2		不開講	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211870	教育分野に関する理論と支援の展開		2		秋～冬学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211241	教育人間学特定演習Ⅱ		2		秋～冬学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
〈共生学系科目〉								
211808	地域創生論特講Ⅰ		2		春～夏学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
	地域創生論特講Ⅱ		2		不開講	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211794	国際協力学特講Ⅰ		2		秋～冬学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
	国際協力学特講Ⅱ		2		不開講	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211801	多文化共生学特講Ⅰ		2		不開講	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211876	共生行動論特講Ⅰ (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)		2		春学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211748	共生の人間学特講Ⅱ		2		秋～冬学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211753	共生社会論特講Ⅰ		2		春～夏学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤

※最新の開講科目一覧表は、MLEのホームページでご確認ください。
 ※⑥⑦の重複履修は認められません（両方も履修した場合は、4単位ではなく、2単位のみ認められます。）
 ※学生は、上位課程の科目を履修できません
 ※構成科目の一覧は2021年度の実績に基づく開講予定で変更の可能性があります。

法学研究科【法学・政治学】

プログラム名	和文 法学・政治学（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム） 英文 Law and Politics (Multilingual Expert Program)
開設研究科	法学研究科
履修対象者	下記の履修資格・条件を満たす博士前期課程の学生
修了要件	修了要件単位（科目）数 本大学院プログラム科目から14単位以上履修すること。7単位以上は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは修了要件単位となる科目で修了のために利用する単位数以上の余分に追加された単位であること。
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修することで、様々な分野にも視野を向け、法的ルールや歴史的に形成された社会構造についての深い造詣に基づき、現代法や公共政策に関する考察を加え、日本や世界の社会が今後有するべき諸秩序や構想に貢献できる人材を育成することを目指して、法学研究科が開講する関連科目群を提供する。
到達目標 (修了時に身につく能力)	本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①法学・政治学における研究能力、及び高度の専門性が求められる職業を担うための能力を有する。 ②異なる分野にも視野を向け知的地平を広げることができる。 ③新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。
カリキュラムの構成	上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、本プログラムでは法学研究科が開講する以下の科目群を配置する。 ・入門・基礎科目 ・公法、私法、基礎法学、政治学に属する各科目 ・総合・展開科目
履修資格・条件	【履修対象者】 1. マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「法学・政治学」を修了した学生で、2022年4月に、人文学研究科博士前期課程の外国学専攻、言語文化学専攻、日本学専攻_応用日本学プログラムのいずれかに入学する者。 2. 上記1以外の者で、2022年4月に、人文学研究科博士前期課程の外国学専攻、言語文化学専攻、日本学専攻_応用日本学プログラムのいずれかに入学する者（又は、10月入学の者は2021年10月に言語文化研究科の博士前期課程に入学した者）で特に希望する者。 【定員】 若干名 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム修了生以外は選考の上、履修生を決定する。
前提知識の目安	特になし。
履修申請	■頁を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。 直接提出する場合は、法学部教務係投函用ボックス（教務係入り口左横）に投函すること。
問合せ先	法学研究科教務係 Email:hokyoumu@law.osaka-u.ac.jp
特記事項	大阪大学大学院人文学研究科は、大学院文学研究科と大学院言語文化研究科の統合によって、2022年4月に発足する予定である。 本コースの履修者に対して研究計画をふまえた担任を配置し、系統的な履修を行うためのアドバイスをを行う。

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期 (4学期制)	開講部局	課 程	備 考
		必 修	選 必	選 択				
220427	公法の基礎		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220298	民法の基礎		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220368	国際政治学概論		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220369	法政情報処理		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220434	日本法総合演習		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	留学生限定
220435	日本政治総合演習		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	留学生限定
220495	政治学概論		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220402	憲法1		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220403	憲法2		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220301	行政法1		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220302	行政法2		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220303	税法		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220306	刑法		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220311	刑事訴訟法		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220316	国際法1		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220317	国際法2		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220304	民法1		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220305	民法2		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220308	商法1		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220309	商法2		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220497	経済法		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220310	民事訴訟法		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220413	裁判外紛争処理法		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220433	裁判学		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220339	社会保障法		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220315	国際私法		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220343	国際取引法		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220320	日本法史		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220325	比較法史		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220323	ローマ法		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220322	法社会学		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220409	法政策学		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220546	中国法		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220500	政治学		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220501	政治過程論		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220346	西洋政治思想史		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220351	日本政治史		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220327	行政学		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220421	比較政治学		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220425	法政情報学1		2		春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220496	地方自治演習		2		秋～冬	法学研究科	博士前期課程	

※学生は、上位課程の科目を履修できません（例えば、博士前期課程の学生は博士後期課程の科目を履修することはできません）。
履修対象者が複数の課程にわたる場合は、科目構成等にご留意ください。
※構成科目の一覧は2021年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

経済学研究科【経済学・経営学】

プログラム名	和文 経済学・経営学（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム） 英文 Economics and Business Administration (Multilingual Expert Program)
開設研究科	経済学研究科
履修対象者	下記の履修資格・条件を満たす博士前期課
修了要件	修了要件単位（科目）数 14単位 本プログラム科目を14単位以上履修すること。7単位以上は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは修了要件単位となる科目で修了のために利用する単位数以上の余分に追加された単位であること
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修できるよう、経済学専攻および経営学系専攻の経済学・経営学に関する専門科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、経済学・経営学に通暁した人材を育成することを旨とする
到達目標 (修了時に身につく能力)	本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①経済学・経営学の基礎について理解している。 ②経済学・経営学の理論を現実の経済・経営問題に応用できる。 ③現実の経済・経営問題について自分の意見を持ち、高度なレベルのプレゼンテーションやディスカッションを行うことができる。 DWAAの到達目標 ④異なる分野にも視野を向け知的地平を広げることができる。 ⑤新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。
カリキュラムの構成	上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、本プログラムでは経済学研究科（経済学専攻応用経済コース、経済学専攻経済制度・事例分析コース、経営学系専攻ビジネスコース）が開講する科目を提供し、経済学および経営学について系統的な履修を促す。
履修資格・条件	【履修対象】 1. マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム「経済学・経営学」を修了した学生で、2022年4月に、人文学研究科博士前期課程の言語文化専攻、外国学専攻、日本学専攻、応用日本学プログラムのいずれかに入学する者。 2. 上記1以外の者で、2022年4月に、人文学研究科博士前期課程の外国学専攻、言語文化専攻、日本学専攻、応用日本学プログラムのいずれかに入学する者（又は、10月入学の者は2021年10月に言語文化研究科の博士前期課程に入学した者）で特に希望する者。 【定員】 若干名 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム修了生以外は、選考の上、履修生を決定する。
前提知識の目安	本プログラムを構成する各科目の履修にあたっては、学部レベルでの経済学・経営学の知識および理解を有することを前提とする。
履修申請	■頁を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。
問合せ先	経済学研究科教務係 TEL: 06-6850-5204 FAX: 06-6850-5212 E-mail: kyoumu@econ.osaka-u.ac.jp

*大阪大学大学院人文学研究科は、大学院文学研究科と大学院言語文化研究科の統合によって、2022年4月に発足する予定です。

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数			開講学期	開講部局	課程	曜日時限	備考
		必修	選必	選択					
230011	ミクロ経済基礎			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230012	マクロ経済基礎			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230013	計量経済基礎			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230014	政策史基礎			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230007	経済史Ⅰ			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230009	経済史Ⅱ			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230102	ミクロ経済分析Ⅱ			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230103	マクロ経済分析Ⅰ			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230104	マクロ経済分析Ⅱ			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230105	計量経済分析Ⅰ			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230106	計量経済分析Ⅱ			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230107	経済数学			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230108	公共経済Ⅰ			2	春学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230109	公共経済Ⅱ			2	夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230110	財政Ⅰ			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230111	財政Ⅱ			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230116	国際経済Ⅰ			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230119	開発経済Ⅱ			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230120	労働経済Ⅰ			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230121	労働経済Ⅱ			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230122	都市・地域経済Ⅰ			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230123	都市・地域経済Ⅱ			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230124	数理経済分析Ⅰ			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230126	経済学史Ⅰ			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230127	経済学史Ⅱ			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230128	産業組織Ⅰ			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230129	産業組織Ⅱ			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230130	日本経済史Ⅰ			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230134	グローバル経営史Ⅰ			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230136	西洋経済史Ⅰ			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
230138	西洋経営史Ⅰ			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
	経済学特論			2又は4		経済学研究科	博士前期課程	未定	
232001	統計基礎			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232002	オペレーションズ・リサーチ			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232003	最適化			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232004	リスク・マネジメント			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232005	確率モデルとシミュレーション			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232006	統計解析			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232007	データマイニング論			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期	開講部局	課 程	曜日時限	備 考
		必修	選必	選択					
232008	財務諸表分析			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232009	マネジメント・アカウンティング			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232010	マーケティング・サイエンス			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232011	マーケティング・マネジメント			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232012	投資理論			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232013	技術経営論			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232015	人的資源管理			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232016	アジア企業・マネジメント			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
	経営学特論 I			2又は4		経済学研究科	博士前期課程	未定	
232101	経営意思決定			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232102	金融工学			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232103	応用統計分析			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232105	理論会計分析			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232106	実証会計分析			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232107	コーポレート・ファイナンス			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232108	アセット・プライシング			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232109	経営戦略論			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232110	国際経営			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232111	組織行動論			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
	経営学特論 II			2又は4		経済学研究科	博士前期課程	未定	
	ケーススタディ			2又は4		経済学研究科	博士前期課程	未定	
232165	テクノロジーデザイン論*			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232167	知的財産権*			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232168	知価社会論*			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232169	技術融合論*			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232170	都市・地域再生論*			2	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232174	ビジネスエンジニアリング特別講義*			1	夏(集中)	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232171	テクノロジーデザイン演習*			1	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232173	知的財産権演習*			1	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	
232189	イノベーションデザイン実践*			2	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	未定	

*学生は、上位課程の科目を履修できません（例えば、博士前期課程の学生は博士後期課程の科目を履修することはできません）。

履修対象者が複数の課程にわたる場合は、科目構成等にご留意ください。

*構成科目の一覧は2021年度の実績に基づく開講予定で、変更の可能性があります。

*工学研究科開講科目

国際公共政策研究科【国際公共政策学】

プログラム名	和文	国際公共政策学（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）
	英文	International Public Policy (Multilingual Expert Program)
開設研究科	国際公共政策研究科	
履修対象者	下記履修資格・条件の要件を満たす修士もしくは博士前期課程の学生	
修了要件	修了要件単位（科目）数	本大学院プログラム科目から14単位以上修得すること。7単位以上は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは修了要件単位となる科目で修了のために利用する単位数以上の余分に追加された単位であること。
	14単位以上	
趣旨・概要	「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修することで、様々な分野にも視野を向け、平和や安全保障、環境問題、経済発展・開発、人権の保障などの公共政策課題について、自分の意見を広く世界に発信したり、解決に向けて指導力を発揮をしたりできるような人材の育成を目指す。	
到達目標 (修了時に身につく能力)	本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた学生に修了認定証を授与する。 ①国際公共政策学（法学、政治学、経済学）について十分な研究能力を備えている。 ②高度の専門性が求められる職業を担うための能力を十分に有する。 ③異なる分野にも視野を向け知的地平を広げる。 ④新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。	
カリキュラムの構成	上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、本プログラムでは、国際公共政策研究科が開講する科目の中から、国際法、国際関係論、経済学などの基礎をしっかりと固められる科目群を提供する。	
履修資格・条件	【履修対象】 1. マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「法学・政治学」もしくは「経済学・経営学」を修了した学生で、2022年4月に、人文学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻応用日本学プログラムのいずれかに入学する者。 2. 上記1以外の者で、2022年4月に、人文学研究科博士前期課程の外国学専攻、言語文化学専攻、日本学専攻、応用日本学プログラムのいずれかに入学する者（又は、10月入学の者は2021年10月に言語文化研究科の博士前期課程に入学した者）で特に希望する者。 【定員】 若干名 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム修了生以外は選考の上、履修生を決定する。	
前提知識の目安	特になし。	
履修申請	■頁を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。	
問合せ先	国際公共政策研究科教務係 Email: kyomu@osipp.osaka-u.ac.jp	
特記事項	大阪大学大学院人文学研究科は、大学院文学研究科と大学院言語文化研究科の統合によって、2022年4月に発足する予定である。	

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数			開講学期	開講部局	課程	備考
		必修	選必	選択				
310005	国際法			2	春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	
310878	国際公共政策のための法律学			2	春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	
310006	国際関係論			2	春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	
311642	Econometric Methods			2	夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	
311559	ミクロ経済分析 I			2	夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	
311561	マクロ経済分析			2	秋～冬学期	国際公共政策研究科	博士前期	
311566	経済数学			2	春学期	国際公共政策研究科	博士前期	
311564	計量データ分析 I			2	秋学期	国際公共政策研究科	博士前期	
310016	国際人権法			2	春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	不開講
310046	比較現代私法論			2	春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	不開講
311470	特殊講義（EU法）			2	春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	
311472	特殊講義（EU域内市場法）			2	秋～冬学期	国際公共政策研究科	博士前期	
310808	演習（ヨーロッパ人権保障体制）			2	秋～冬学期	国際公共政策研究科	博士前期	不開講
310045	比較政治システム論			2	秋～冬学期	国際公共政策研究科	博士前期	
311164	特殊講義（紛争研究概論）			2	春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	不開講
311165	特殊講義（平和構築論）			2	秋～冬学期	国際公共政策研究科	博士前期	不開講
311031	特殊講義（国際行政論）			2	春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	
311161	演習（平和研究）			2	春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	
311221	演習（多文化共生論）			2	秋～冬学期	国際公共政策研究科	博士前期	
310021	公共経済学			2	春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	
310882	特殊講義（労働経済学の実証分析）			2	春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	
310897	プロジェクト演習（公共政策ワークショップ）			2	通年	国際公共政策研究科	博士前期	

※学生は、上位課程の科目を履修できません（例えば、博士前期課程の学生は博士後期課程の科目を履修することはできません）。
履修対象者が複数の課程にわたる場合は、科目構成等にご留意ください。
※構成科目の一覧は2021年度の実績に基づく開講予定で変更される可能性があります。

人文学研究科（外国学専攻）【言語文化学】

プログラム名	和文	言語文化学
	英文	Language and Culture
開設研究科	人文学研究科	
履修対象者	下記の履修資格・条件を満たす修士もしくは博士前期課程の学生	
修了要件	修了要件単位（科目）数	本大学院プログラム科目を14単位以上修得すること。7単位以上は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは修了要件単位となる科目で修了のために利用する単位数以上の余分に追加された単位であること。
	14単位以上	
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。そのなかで本プログラムは、大学院生向けに実施するものであり、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修する。学生はプログラム登録に際しあらかじめ専攻語を一つ選択し、その専攻語および専攻語圏の文化学に関するプログラムを構成する専門教育科目を履修する。これにより、読み、書き、聞き、話す国際的な場面で通用する総合的な高い言語運用能力を涵養するとともに、当該言語文化圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想に通暁した人材を育成することを目指す。	
到達目標 (修了時に身につく能力)	<p>本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。</p> <p>①専攻語の四技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）に関して、国際的な場面で通用する高い運用能力を有する。</p> <p>②専攻語圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想を深く理解するとともに、専攻語で関連テーマについて高度なレベルのプレゼンテーションやディスカッションを行うことができる。</p> <p>③異なる分野にも視野を向け知的地平を広げることができる。</p> <p>④新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。</p>	
カリキュラムの構成	<p>上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、本プログラムでは人文学研究科（外国学専攻）が開講する以下の5つの科目群を配置し、各専攻語学および専攻語圏の文化学について系統的な履修を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専攻科目（広域言語論・地域言語論） ・地域言語社会特論科目 ・複合領域特論科目 ・専攻言語科目 ・関連研究言語科目 	

履修資格・条件	<p>【履修対象】</p> <p>1.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」もしくは「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」を修了した学生で、2022年4月に、人文学研究科【注1】の修士もしくは博士前期課程に入学する者。 ●マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「人間科学（共生の生態）」を修了した学生で、2022年4月に、人間科学研究科もしくは人文学研究科【注2】の博士前期課程に入学する者。 ●マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「法学・政治学」を修了した学生で、2022年4月に、法学研究科、国際公共政策研究科もしくは人文学研究科【注2】の博士前期課程に入学する者。 ●マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「経済学・経営学」を修了した学生で、2022年4月に、経済学研究科、国際公共政策研究科もしくは人文学研究科【注2】の修士もしくは博士前期課程に入学する者。 <p>2.</p> <p>上記1以外の者で、2022年4月に、人文学研究科【注1】、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、国際公共政策研究科、工学研究科のいずれかに入学する者（又は、10月入学の者は2021年10月に言語文化研究科（言語文化専攻、日本語・日本文化専攻）、人間科学研究科法学研究科、経済学研究科、国際公共政策研究科、工学研究科の修士・博士前期課程に入学した者）で特に希望する者。</p> <p>【定員】 若干名</p> <p>【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム修了生以外は、あらかじめ申請する専攻言語について、大学院で研究するにふさわしいレベルがあることを証明する書類を提出し、選考の上、履修生を決定する。（専攻する言語以外の運用能力についての証明書は不可。）</p>
	前提知識の目安
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本プログラムの構成科目のうち専攻言語科目については、優先的に履修することを推奨する。 ・上記「履修資格・条件」の2.に該当する者については、履修を希望する専攻言語科目に関する運用能力が大学院で研究するにふさわしい一定の水準に達していることを証明する書類（各種検定試験のスコアの写し等）を所定の期限までに提出すること。 ・大阪大学大学院人文学研究科は、大学院文学研究科と大学院言語文化研究科の統合によって、2022年4月に発足する予定である。
履修申請	<p>■頁を参照のこと。</p> <p>履修申請書はMLEのホームページから入手できる。</p>
履修申請	<p>人文学研究科・外国語学部質面事務部 MLE 担当</p> <p>Email: multilingual@lang.osaka-u.ac.jp</p>

※人文学研究科【注1】：人文学専攻、芸術学専攻、言語文化学専攻、日本学専攻、
 ※人文学研究科【注2】：言語文化学専攻、日本学専攻（応用日本学プログラム）

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期	課 程
		必修	選必	選択		
30550B	英米言語社会論 (B)			2	秋～冬学期	博士前期課程
30550C	英米言語社会論 (C)			2	春～夏学期	博士前期課程
30550D	英米言語社会論 (D)			2	秋～冬学期	博士前期課程
30550E	英米言語社会論 (E)			2	春～夏学期	博士前期課程
30550F	英米言語社会論 (F)			2	秋～冬学期	博士前期課程
【複合領域特論】						
305511	生涯学習論			2	集中	博士前期課程
305534	ヨーロッパ比較文化動態論 (A)			2	春～夏学期	博士前期課程
305535	ヨーロッパ比較文化動態論 (B)			2	秋～冬学期	博士前期課程
305504	言語文化資源の活用と情報処理研究			2	秋～冬学期	博士前期課程
305505	通訳翻訳学特講 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305506	通訳翻訳学特講 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305533	多言語共生社会演習			2	集中	博士前期課程
【専攻言語】						
305355	中国語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305356	中国語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305357	朝鮮語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305358	朝鮮語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305359	モンゴル語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305360	モンゴル語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305361	インドネシア語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305362	インドネシア語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305363	フィリピン語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305364	フィリピン語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305365	タイ語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305366	タイ語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305367	ベトナム語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305368	ベトナム語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305369	ビルマ語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305370	ビルマ語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305371	ヒンディー語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305372	ヒンディー語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305373	ウルドゥー語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305374	ウルドゥー語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305375	アラビア語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305376	アラビア語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305377	ペルシア語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305378	ペルシア語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305379	トルコ語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305380	トルコ語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305381	スワヒリ語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305382	スワヒリ語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305383	ロシア語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305384	ロシア語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305385	ハンガリー語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305386	ハンガリー語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305387	デンマーク語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305388	デンマーク語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305389	スウェーデン語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305390	スウェーデン語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305391	ドイツ語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305392	ドイツ語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305393	英語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305394	英語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期	課 程
		必修	選必	選択		
305395	英語特別演習 C			2	春～夏学期	博士前期課程
305396	英語特別演習 D			2	秋～冬学期	博士前期課程
305397	フランス語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305398	フランス語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305399	イタリア語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305400	イタリア語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305401	スペイン語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305402	スペイン語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305403	ポルトガル語特別演習 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305404	ポルトガル語特別演習 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
【関連研究言語】						
305411	アイヌ語 A			2	集中	博士前期課程
305413	現代チベット語 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305414	現代チベット語 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305415	古典チベット語 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305416	古典チベット語 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305423	オセアニア諸語 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305424	オセアニア諸語 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305425	サンスクリット語 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305426	サンスクリット語 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305427	パリー語 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305428	パリー語 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305429	ベンガル語 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305430	ベンガル語 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305434	ウイグル語 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305437	カザフ語 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305438	カザフ語 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305447	西アフリカ諸語 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305448	西アフリカ諸語 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305451	古代教会スラブ語 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305452	古代教会スラブ語 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305453	ウクライナ語 A			2	集中	博士前期課程
305454	ウクライナ語 B			2	集中	博士前期課程
305455	ポーランド語 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305456	ポーランド語 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305457	リトアニア語 A			2	集中	博士前期課程
305458	リトアニア語 B			2	集中	博士前期課程
305459	エスペラント語 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305460	エスペラント語 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305461	ラテン語 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305462	ラテン語 B			2	秋～冬学期	博士前期課程
305475	チェコ語 A			2	春～夏学期	博士前期課程
305476	チェコ語 B			2	秋～冬学期	博士前期課程

※学生は上位課程の科目を履修出来ません。
 ※構成科目は2021年度の実績に基づく開講予定で変更の可能性があります。

大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムに関する申合せ

(趣 旨)

第1条 この申合せは、大阪大学（以下「本学」という。）の学生に対して、当該学生が所属する学科及び専攻の教育課程（カリキュラム）に加えて別途提供する大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（以下「マルチリンガルプログラム」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(目 的)

第2条 マルチリンガルプログラムは、学部及び大学院博士前期課程（修士課程を含む。）を通じた部局横断型教育プログラムを構築することによって、複数の学部及び複数の研究科の教育プログラムを修め、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする。

(対象学生)

第3条 マルチリンガルプログラムは、本学の文学部、人間科学部、外国語学部、法学部、経済学部及び工学部並びに人文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究、国際公共政策研究科及び工学研究科に所属する学生に対して提供するものとする。

(構 成)

第4条 マルチリンガルプログラムは、学部における教育プログラム（以下「学部プログラム」という。）及び大学院における教育プログラム（以下「大学院プログラム」という。）で構成する。

2 学部プログラムは、レギュラープログラム及びショートプログラムから構成される大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムとして開設し、その修了要件、提案、承認、修了認定証の発行及び管理運営については、別に定める。

3 大学院プログラムは、大阪大学大学院副専攻プログラムとして開設する。

(修了要件)

第5条 マルチリンガルプログラムの修了の要件は、学部プログラムのうちレギュラープログラムを修了し、かつ、大学院において所属する専攻があらかじめ指定する大学院プログラムを修了することとする。

(修了認定証の発行)

第6条 学部プログラムの提案部局又は幹事部局は、マルチリンガルプログラムを修了した学生に対して、所属学部の修了後、速やかに学部プログラムの提案部局又は幹事部局の長と総長との連名によるマルチリンガルプログラムの修了認定証を発行することができる。大学院プログラムの提案部局又は幹事部局は、マルチリンガルプログラムを修了した学生に対して、速やかに大学院プログラムの提案部局又は幹事部局の長と総長の連名によるマルチリンガルプログラムの修了認定証を発行することができる。修了認定証の学生への交付は、提案部局又は幹事部局による修了判定の後、課程修了時と同時に行うものとする。

附 則

この申合せは、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和2年10月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和4年4月1日から施行する。

大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムの一部として 実施される学部プログラムに関する覚書

(趣 旨)

第1条 この覚書は、大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムに関する申合せ（以下「申合せ」という。）第4条第2項の規定に基づき、大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム（以下「学部プログラム」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(構 成)

第2条 学部プログラムは、その教育目標に沿って、所属学科に準ずる一定のまとまりを有する科目により構成するものとし、レギュラープログラム及びショートプログラムを設ける。

(修了要件)

第3条 学部プログラムの修了に必要な単位数は次のとおりとし、各学部プログラムごとにこれを定めるものとする。

(1) レギュラープログラム 24単位以上

(2) ショートプログラム 12単位以上24単位未満

2 学部プログラムの修了に必要な単位と所属学科の卒業に必要な単位との重複を認めるものとする。ただし、当該学部プログラム修了のために必要な単位数の半数以上を、所属学科の卒業に必要な最低修得単位数以外に修得しなければならない。

(提 案)

第4条 部局（文学部、人間科学部、外国語学部、法学部、経済学部、工学部及び数理・データ科学教育研究センターをいう。以下同じ。）は、単独で、又は複数の部局が連携して、学部プログラムを提案するものとする。

2 前項の場合において、複数の部局が連携して提案する場合は、幹事部局を定め、幹事部局から提案を行うものとする。

(承 認)

第5条 マルチリンガル・エキスパート養成プログラム運営協議会は、提案部局又は幹事部局から提案された学部プログラムの名称、内容等について、審議し、承認するものとする。

(修了認定証の発行)

第6条 提案部局又は幹事部局は、学部プログラムを修了した学生に対して、所属学科の卒業後、速やかに提案部局又は幹事部局の長と総長との連名による学部プログラムの修了認定証を発行することができる。

(実 施)

第7条 学部プログラムの実施については、提案部局又は幹事部局で行うものとする。

附 則

この申合せは、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和4年4月1日から施行する。